

決裁後原書返付

19年 / 月 / 10 日

三葉 6 號

貯業 011 號

貯業	校合
----	----

一月十日
日滿郵便條約
二回二件

局長

課長

係長

通信院貯金保險局長

内務省公署理局長
大東亞省滿洲事務局長
大東亞省南方事務局長
朝鮮總督府通信局長
國庫通信官署通信局長

宛先通

台湾總督府交通局長
南洋廳交通部長
(南洋振替貯金係自由)

件名

昨葉ノ一六五號(四一八、二一七)内附

右者方提議ニ對シ今般滿洲國ヨリ別紙寫ノ通
回答有之候事此段及仰通知候

進丁
内務省管理局長宛……………朝鮮總督府通信局及
大車運南滿洲事務局長宛……………國車運信官署通信局
大車運南滿洲事務局長宛……………南洋廳交通部

英曆1824

(其五號)

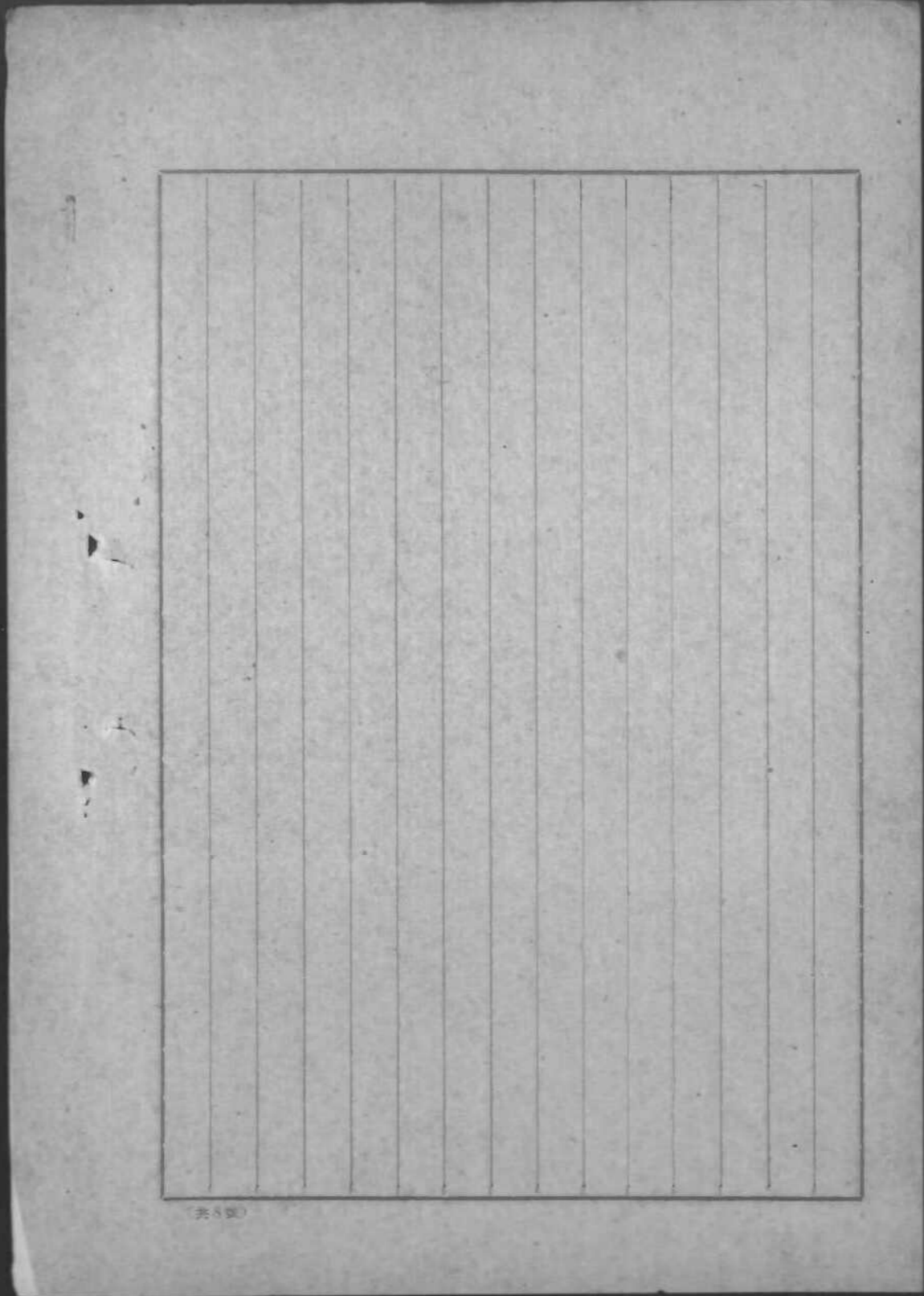
台湾總督府交通部

ニ對シテハ便宜當局ヨリ直接

通知致置候

本堂ノ内外地宛ノモノニ付テハ
日滿郵便振替ニ関スル細目協定及同并各事項ノ修正ニ関スル
者方提議ニ對スル回答ニ付南洋振替貯金係ヨリ同堂
ヲモテ洋付シテ發送スルコトニ致置

505



（表紙）

裏面白紙

郵總局第三四三一號（第二號第三八七號）

庚寅年十二月二十九日

滿洲國 郵政總局長

日本郵政會保險局長殿

新貨 十二月十五日附費給貯袋第一六〇號ヲ以テ御送付相成候様日間
取極約ニ基ク事務協定ノ修正ニ關スル交換公文付方往輪落書等シ交
換公文付方往輪別紙ノ同封及送付候様可然候様書付候度候

敬具

56

以應於歐上、對俄國者本大臣ハ滿洲國日本國間郵便業務ニ關スル條約ニ
此ク當該條約中修正ニ關シ昭和十八年十二月十五日附書附テ以テ左ノ
通例俾該兩國間郵便業務

一 日文中「第三十九條 假條」ヲ削ル

二 第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ、第二項中「地位未滿」ヲ「十
條未滿」ニ、「地位未滿」ヲ「一應未滿」ニ改ム

爲該一口ノ合額制限ハ通常爲替及電信爲替ニ在リテハ日本國通支一
即以上千圓以下、小爲替ニ在リテハ同十圓以上百圓以下トス

三 第二十八條第一項乃至第三項ヲ左ノ如ク改ム

一 通常爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

(一) 日本國輸出ノモノ

裏面白紙

裏面白紙

百	圓	迄	五	十	錢
三	圓	迄	一	圓	五十
五	圓	迄	一	圓	五十
千	圓	迄	二	圓	五十

曰 滿洲國振出ノモノ

百	圓	迄	六	角
三	圓	迄	一	圓
五	圓	迄	二	圓
千	圓	迄	二	圓

郵便取立金ニ對スル通常為替ノ料金ハ拂渡國ニ於ケル為替料トシ
 金額百圓(圓)以下ナルトキハ小為替ノ料金ノ割合ニ依ル此ノ料
 金ハ為替金拂渡ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

裏面白紙

二 電信為替一口ノ為替料ハ左ノ通トス

□ 日本郵船出ノモノ

百	圓	迄	一	圓	五十	錢
三	百	圓	迄	三	圓	
五	百	圓	迄	四	圓	五十
千	圓	迄	六	圓		

□ 滿洲郵船出ノモノ

(甲) 滿洲郵船便席ト日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

百	圓	迄	二	圓	七		
三	百	圓	迄	三	圓	五	角
五	百	圓	迄	五	圓		

裏面白紙

千圓迄 六圓五角

(乙) 濟州島郵便局ト朝鮮及畿東州ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

百圓迄 一圓五角
三百圓迄 三圓
五百圓迄 四圓五角
千圓迄 六圓

三 小為替一口ノ為替料ハ左ノ通トス

一 日本國振出ノモノ

二十圓迄 十錢
五十圓迄 二十錢
百圓迄 三十錢

一 濟州國振出ノモノ

十	三	五	百
圓	圓	圓	圓
一	二	三	五
角	角	角	角

四 第三十八條第三項及第四項ヲ左ノ如ク改ム

爲替ノ受取人證書ノ亡失、毀損又ハ汚損ニ因リ再度爲替證書ノ交付
ヲ請求スルトキハ同人チシテ保證人チ立テシムルコトヲ要ス

再度爲替證書ハ管理廳又ハ郵便局ニ於テ之チ發行シ請求人ニ交付ス
但シ小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發行ノ
日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ再度證書ヲ發行セズ

五 第三十九條ヲ削ル

六 第四十一條第二項中「又ハ振出局」ヲ削リ、第三項ヲ左ノ如ク改ム

裏面白紙

前項ノ通報ヲ受ケタル辰橋渡居ハ檢出届ヨリ通報ヲ受ケタル總合ヲ
除クノ外振出請求書ヲ新橋渡居ニ送付ス

七 第五十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

第五十一條第一項ノ取得分ノ計算及清算ニ付テハ前條第三項ノ規定
ヲ適用ス

八 第五十四條第一項中「第二十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ爲替金額」
ヲ「第二十七條第一項ノ」ニ改ム

九 第六十條第一項但書中「所屬口座所管廳ノ承認ヲ受ケタル郵便局
ヲ以テ」ヲ削リ、第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

裏面白紙

(一) 糖込料

五百圓(圓)迄

十錢(一角)

五百圓(圓)ヲ超ユルモノ

二十錢(二角)

(二) 振替料

五錢(五分)

(三) 拂出料

(甲) 日本國拂出ノモノ

二十圓迄

十錢

五百圓迄

二十錢

千圓迄

六十錢

三千圓迄

八十錢

裏面白紙

(乙) 滿洲國拂出ノモノ

二	十	圓	迄	一	角
百	圓	迄	二	角	
五	百	圓	迄	四	角
千	圓	迄	七	角	
三	千	圓	迄	一	圓一角

十七 第六十條第七項ヲ左ノ如ク改ム

通常振替ノ拂込料、電信振替ノ本人拂込料、振替及拂出ニ關スル料
 金ニシテ左ノ各號以外ノモノ竝ニ集金委託料ニシテ集金振替拂込ニ
 係ルモノハ別段ノ必要アル場合ヲ除クノ外加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控
 除徴收ス

一 五庫持出證書ノ料金

二 第七十二條第一項、第七十三條及第七十六條第一項第二節ノ取

扱ノ料金

十一 第七十五條中「、拂出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一
節」ヲ削リ、左ノ但書ヲ加フ

但シ五庫持出證書ノ發行ハ拂出口區所管限ニ於テ之ヲ爲スモノトス

十二 日本文證書第三號小爲證書、香港西曆再度爲證書、香港五
庫五庫小爲證書、振第七號再度拂出證書及振第十一號再度拂出報
知書各號形ヲ夫々別紙ノ如ク改ム

裏面白紙

十三 本修正ハ康徳十一年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

本大臣ハ右ニ同書ナル旨閣下ニ通告スルハ光榮ヲ有シ候

本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

康徳十年十二月二十九日 新京ニ於テ

滿洲帝國交通部大臣 谷 次 亨

大日本帝國通商總務大臣 八 田 嘉 明 殿

本件ニ關スル領事文書ニハ必ず本署に寄附及月日ヲ記入スルヲ要シ

郵總備第三四三〇號（備二葉第三八九號）

康徳十年十二月二十八日

滿洲國 郵政總局長

日本國通信院貯金保險局長殿

拜啓十二月十五日附貴翰貯業第一五五號ヲ以テ御協議ノ日滿振替業
務ニ關スル細目協定及同打合事項修正ニ關シテハ當方異議無之ニ付
御諒承相成度候

迫而實施期日ニ關シテモ異議無之爲念

敬具

裏面白紙

告了

18年12月29日

發送	校合	簿籍
----	----	----

番号七三
五千九百零九

回谷案

通信院附金局信局宛
台湾總督府通信局宛

日滿事務協定修正ノ件

昨付附原七〇七號ニ付スル回谷 異動ナシ

局長

課長

係長

信局

裏面白紙

貯書

二五

ムラ 六一 タイネク セ〇セ

24

チヨキンホケンキヨク



一ニケ一セヒ、チヨゲ ウダ イ一六五ブ ウニタイスルナイヨウ
オヨビ シ ツシキジ ツニイド ウナキマシツレタイワンテイシン
十二月十七日附貯書第一六五番ニ封入内容及實施期日ニ異動
ナキヤ至急回報アリタシ

名揚連信

セ一〇、三〇 サ

貯金保険局申中

裏面白紙



未結了 事務主任

18年12月16日
第 585 號
貯集 165
校合
支分所
支分所

有東省(支分所)
書台紙

日滿郵便條約ニ基テ業務協定等
修正一閱ニ付

課長
課長
課長
課長

内務省管理局長
大東亞省滿洲事務局長
大東亞省南方事務局長
朝鮮總督府通信局長
關東連信官署通信局長
台灣總督府交通局長
通信院貯金保險局長

宛先通

南洋廳交通部長
(南洋總督府官係主由)

件名

去ル十一月一日ヨリ内閣郵便爲替及郵便振替營業
改正を實施セラレタル如ク日滿營業協定ニ付テモ相違
改正ヲおス者今般日滿郵便條約ニ基テ營業協
定ニ茲ニ日滿振替營業ニ関スル細目協定及打合
事項ノ修正方別表寫ノ通提議致候條此般

内各外地
宛ニ限ル

第1824

(第6號)

内各下記三
庁宛ニ限ル

及御通知候

追而

内務省官署理局長宛ハ朝鮮總督府通信局及名
大東亞省滿洲事務局長宛ハ同在連信官署通信局
大東亞省南方事務局長宛ハ南洋廳交通部

南洋總督府交通部

ニ對シテハ便宜者ヨリ直接通知

致置候

524

Handwritten text in vertical columns within a rectangular frame. The text is extremely faint and illegible.

共六冊

貯業 一六〇

昭和十八年十二月十五日

日本國逓信院貯金保險局長

滿洲國郵政總局長 殿

拜啓 茲ニ貴我關係官人間ニ下打合テ了シタル日滿郵便爲替及日滿郵便
振替業務ノ改正ニ付必要ナル日滿間郵便條約ニ基ク業務協定ノ修正ニ
關スル交換公文當方往翰別紙ノ通同封及御送付候様可然御取計相成度
此段及得貴意候敬具

裏面白紙

交 換 公 文

以書翰答上致候陳者本大臣ハ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ
基ク業務協定中修正ニ關シ左ノ通閣下ニ提議スルノ光榮ヲ有シ候

一 目次中「第三十九條 假拂」ヲ削ル

二 第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ、第二項中「錢位未滿」ヲ「十
錢未滿」ニ、「圓位未滿」ヲ「一圓未滿」ニ改ム

爲替一口ノ金額制限ハ通常爲替及電信爲替ニ在リテハ日本國通貨一
圓以上千圓以下、小爲替ニ在リテハ同十錢以上百圓以下トス

三 第二十八條第一項乃至第三項ヲ左ノ如ク改ム

一 通常爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

□ 日本國振出ノモノ

裏面白紙

百	圓	迄	五	錢
三百	圓	迄	一	圓
五百	圓	迄	一	圓五十錢
千	圓	迄	二	圓

口 滿洲國振出ノモノ

百	圓	迄	六	角
三百	圓	迄	一	圓二角
五百	圓	迄	二	圓
千	圓	迄	二	圓五角

郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ拂渡國ニ依ケル爲替料トシ
 金額百圓(陸)以下ナルトキハ小爲替ノ料金ノ割合ニ依ル此ノ料
 金ハ爲替金拂渡ノ際受取人ヨリ之ヲ徴取ス

二 電信爲答一口ノ爲答料ハ左ノ通トス

□ 日本國郵出ノモノ

百	圓	迄	一	圓	五十	錢
三	百	圓	迄	三	圓	
五	百	圓	迄	四	圓	五十
千	圓	迄	六	圓		

□ 滿洲國郵出ノモノ

(甲) 滿洲國郵便局ト日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

百	圓	迄	二	圓	
三	百	圓	迄	三	圓
五	百	圓	迄	五	圓

裏面白紙

裏面白紙

(乙) 濟州總督使局ト朝鮮及龍東州ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

千圓迄 六圓五角

百圓迄 一圓五角

三百圓迄 三圓

五百圓迄 四圓五角

千圓迄 六圓

三 小爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

口 日本國振出ノモノ

二十圓迄 十錢

五十圓迄 二十錢

百圓迄 三十錢

口 濟州總督振出ノモノ

裏面白紙

十	三	五	百
圓	圓	圓	圓
一	二	三	五
角	角	角	角

四 第三十八條第三項及第四項ヲ左ノ如ク改ム

爲替ノ受取人證書ノ亡失、毀損又ハ汚斑ニ因リ再度爲替證書ノ交付
ヲ請求スルトキハ同人ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ要ス

再度爲替證書ハ管理廳又ハ郵便局ニ於テ之ヲ發行シ請求人ニ交付ス
但シ小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發行ノ
日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ再度證書ヲ發行セズ

五 第三十九條ヲ削ル

六 第四十一條第二項中「又ハ振出局」ヲ削リ、第三項ヲ左ノ如ク改ム

裏面白紙

前項ノ通報ヲ受ケタル辰橋渡尾ハ檢出届ヨリ通報ヲ受ケタル場合ヲ
除クノ外振出請求書ヲ新橋渡尾ニ送付ス

七 第五十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

第五十一條第一項ノ收得分ノ計算及清算ニ付テハ前條第三項ノ規定
ヲ準用ス

八 第五十四條第一項中「第二十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ發着命令ニ」

ヲ「第二十七條第一項ノ」ニ改ム

九 第六十條第一項但書中「所屬口座所管職ノ承認ヲ受ケタル郵便局
ヲ指テ」ヲ削リ、第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

裏面白紙

(一) 糖込料

五百圓(圓)迄

十錢(一角)

五百圓(圓)ヲ超ユルモノ

二十錢(二角)

(二) 振替料

五錢(五分)

(三) 棉出料

(甲) 日本國棉田ノモノ

二十圓迄

十錢

百圓迄

二十錢

五百圓迄

四十錢

千圓迄

六十錢

三千圓迄

八十錢

裏面白紙

(乙) 滿洲國拂出ノモノ

二十圓迄	一	角
百圓迄	二	角
五百圓迄	四	角
千圓迄	七	角
三千圓迄	一	圓一角

十七 第六十條第七項ヲ左ノ如ク改ム

通常振替ノ拂込料、電信振替ノ本人拂込料、振替及拂出ニ關スル料
 金ニシテ左ノ各號以外ノモノ竝ニ集金委託料ニシテ集金振替拂込ニ
 係ルモノハ別段ノ必要アル場合ヲ除クノ外加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控
 除徴收ス

裏面白紙

（一）再度提出證書ノ料金

（二）第七十二條之二項、第七十三條及第七十六條第一項第二節ノ取

扱ノ料金

十一 第七十五條中「提出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一
節」ヲ削リ、左ノ但書ヲ加フ

但シ再度提出證書ノ發行ハ拂出口區所管轄ニ於テ之ヲ爲スモノトス

十二 日本支那鐵道三號小爲證書、香港西號再度爲證書、香港五
號五號小爲證書、振第七號再度提出證書及振第十一號再度提出
證書各紙形ヲ夫々別紙ノ如ク改ム

裏面白紙

十^三本修正ハ昭和十九年一月一日ヨリ之ヲ實施ス
本大臣ハ石ニ同致ナル旨ノ御回答ニ接スルヲ得ハ幸甚ニ候
本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

昭和十八年十二月十五日 東京ニ於テ

大日本帝國運輸通信大臣 八 田 嘉 明

滿洲帝國交通部大臣 谷 天 亨 殿

別表

替り三條

用紙寸法
A5
紙質
三年保存
色直
普通用紙

70	60	50	45	40
80	90	100	35	30
20	25	20	25	20
1	5	10	15	15

受領人氏名
印名所人受
印氏名

小爲答書
指局指
取人定
氏人定
名宿受
名宿

記簿
一
金

印
日
印
日

出
日
印

裏面白紙

別紙

替戸四冊

再交右替證書

替戸一冊及右證書控用

替戸五冊

再交右替證書

替戸三冊及右證書控用

替戸七冊

再交右替證書

替戸三冊及右證書控用

替戸十冊

再交右替證書

替戸十冊及右證書控用

裏面白紙

本件ハ關シテ照復文書ニシテ必ズ本書記管號及月日ヲ記入アリトシ

貯書第一五五號

昭和十八年十二月十五日

日本國通信院貯金保險局長

滿洲國郵政總局長殿

拜啓 來ル一月一日ヨリ貴我兩國間ニ實施セラルベキ日滿郵便條約ニ基ク郵便協定ノ修正ニ關聯シ日滿郵便振替業務ニ懸スル細目協定及同打合事項中別紙ノ添修正致度候條書見至急御回報相傾度此段及細協書候 敬 具
追而貴廳ノ御贊同ヲ得タル場合ハ本修正ハ業務協定修正實施ノ日ヨリ之ヲ實施致度候爲念

裏面白紙

裏面白紙

本件ニ關スル國書文書ニ付本署記番號及月日ヲ記入アリタシ

昭和十一年十一月十二日附貯備第三七三編纂案ノ
日新郵便振替業務ニ關スル細目協定中修正

一、第一項業務協定第六條第五號ニ關スルモノ(一)中「別名又ハ別番號
更屆書」ヲ「口座名義變更屆書」ニ、「代理署名人設定又ハ廢止
屆書」ヲ「代理署名人設定、變更又ハ廢止屆書」ニ改メ、「參加
署名人設定又ハ廢止屆書」、「參加署名人變更屆書」及「代
理署名人變更屆書」ヲ削ル

昭和十二年十一月二十七日附貯備第二一八九號提案ノ日新
郵便振替業務ノ細目手續ニ關スル追加打合事項中修正

一、第八項業務協定第六十九條、第七十一條第一項及第七十四條第一
項ニ關スルモノヲ左ノ如ク改ム
本人拂込又ハ本人拂ノ請求ニ付テハ請求ノ區別ニ從ヒ拂込書又ハ

(後項第 頁) (前項第 頁)

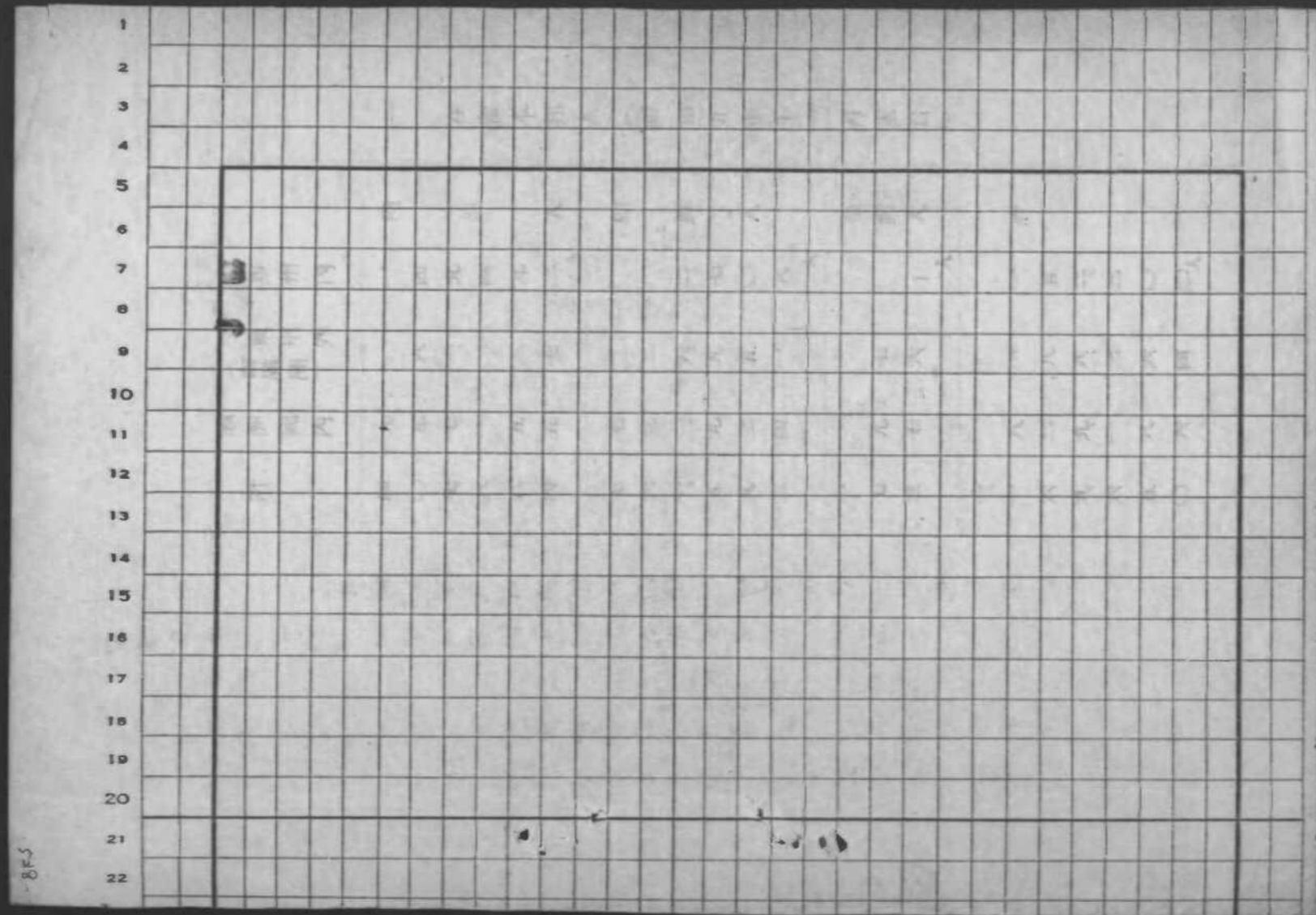
本件ニ關スル照會文書ニハ必ズ本書記番號及月日ヲ記スアリタシ

辨出書ニ夫夫左ノ通表シセシムルコト

本人辨込ノ場合 辨込人住所氏名ノ記載ニ代ヘ「本人辨込」ノ文字

本人辨ノ場合 受取人住所氏名ノ記載ニ代ヘ「本人辨」ノ文字
三箇十四項要務協定第八十八條ニ關スルモノヲ指ル

裏面白紙



裏面白紙



滿洲帝國政府

給覽了



郵總儲第三四三〇號
二業第三八九號
庚德十年十二月二十八日



滿洲國

郵政總局長



日本國通信院貯金保銀局長 殿

日滿振替業務細目協定之筆修訂ニ付御覽

本方程第ニ番シテ直送函送ニ付御覽

拜啓十二月十五日附貴院貯業第一五五號ヲ以テ御協議ノ日滿振替業務

ニ關スル細目協定及同打合事項修正ニ關シテハ當方異議無之ニ付御諒
承相成度候

追而實施期日ニ關シテモ異議無之爲念

敬具



印-6. 日列5

めくれず

後由は...

軍中...

二月二十一日...

日本...

明治二十一年...

...



ムラ 四六 コウツウア 一四 ヒニ〇

チヨキンケ ウムテ

一八ヒニ〇ジ キョウウ ムタウテイシウセイコウカシコウブ



一八日ヲニ四等賞電ニ封スレ回答。業務協定行ニ基テ公文ト同封セリ

コ四〇二四

55

570



Vertical Japanese text on the right side of the document.

Vertical handwritten text in the center of the document, possibly in a historical script.

Vertical handwritten text on the right side of the central block.



書考了

19年1月18日

號
號
洋書
校合
發送

卷号二四村
十台
年考之町字修

照會案

局長

課長

課長

課長

日滿提携委員會ニ関スル細目協定ヲ修訂ニ伴フ件
町全保險局町全事業課長
滿洲國郵政總局儲蓄保險課長宛

日滿提携協定修訂ニ伴フ提携細目協定、同打合事項
修訂提案ニ對スル回答未着ニ付、並急回報相好致

裏面白紙

未結了
12 13

未決了

18年12月11日
三葉 580 號
訂兼 155 號

局長
課長
局長
局長

日滿郵便振替業務ニ関スル細目協定及
打合事項中修正ニ關スル件

年月日
案 右添付の(三葉) 概文書

日本國通信院貯金保險局長
滿洲國郵政總局長宛

拜啓 奉ル一月一日ヨリ貴我兩國間ニ實施セラルベキ日

滿郵便條約ニ基テノ業務協定ノ修正ニ關聯シ日滿郵便振

替替察ニ同スル細目協定及同打合奉項中別裁ノ通
修正致変候条貴見至急御回報相煩度此段及御協儀
候 敬具

進而貴廳ノ御賛同ヲ得ル場合ハ本修正ハ替替協定
修正實施ノ日ヲ之ヲ實施知度矣有念

裏面白紙

別紙ノ一

昭和十一年十一月十二日附貯国券三七三號提筆ノ
日滿郵便協定書第一回ニ付目協定中修正

一、第一項書協定第六條ノ五種ニ付スルモノ(一)中「別名

又ハ肩書変更届書」ヲ「口登名義変更届書」ニ、「代理署

名人設定又ハ廢止届書」ヲ「代理署名人設定、變更又ハ

廢止届書」ニ改メ、「参加署名名人設定又ハ廢止届書」ニ

「参加署名名人変更届書」及「代理署名人変更届書」ヲ

削
ル

裏面白紙

別紙ノ二

昭和十二年十一月二十七日附野田第二一八九號提
案ノ日滿郵便振替書格ノ細目手續ニ関スル追加
打合事項中修正

一 第八項 普救協定第六十九條、第七十一條、第七十四條、

一項ニ関スルモノヲ左ノ如ク改ム

本人拂込又ハ本人拂ノ請求ニ付テハ請求ノ區別ニ從ヒ拂込書又ハ

提出書ニ夫夫左ノ通表示セシムルコト

本人拂込ノ場合 拂込人住所氏名ノ記載ニ代ヘ「本人拂込」ノ文字

訂正

訂正理由

撮影ミスのため

訂正箇所

直前の

／コマ取消

／コマ再撮影

訂正年月日

平成 19 年 12 月 19 日

このフィルムは、上記の理由で取消又は再撮影し訂正しました。

撮影者

奇藤光始

印

受託責任者

神奈川県 藤沢市 沼210番地
富士写真フイルム株式会社
代表取締役 重隆



印

別紙ノ二

昭和十二年十一月二十七日附野因第ニ一八九號

案ノ日満郵便振替券格ノ細目手續ニ関スル追加

打合事項申付云

一 第八項 普魯協定第六十九條 第七十一條及第七十四條

一項ニ関スルモノヲ左ノ如ク改ム

本人拂込又ハ本人拂ノ請ホニ付テハ請求ノ區別ニ從ヒ拂込書又ハ

拂出書ニ夫夫左ノ通表示セシムルコト

本人拂込ノ場合 拂込人住所氏名ノ記載ニ代ヘ「本人拂込」ノ文字

裏面白紙

日滿郵便振替業務ニ關スル細目協定中新舊對照

昭和十一年十一月十二日附貯總第三七三號提案ノ日滿郵便振替業務ニ關スル細目協定第一項業務協定第六條第五號ニ關スルモノ

□ 郵便振替加入者又ハ其ノ代理人ヨリ口座所管屬ニ送付スル左ノ
 参考ハ之ヲ無料普通通常郵便物トスルコト

印鑑票、(中略)、別名又ハ肩書口座名變更届書、參加署名人
 設定又廢止届書、參加署名人變更届書、
 代理署名人設定、

變更又ハ廢止届書、代理署名人變更届書、 (後略)

新旧対照

日郵郵便振替業務ニ關スル打合事項中新舊對照

一 昭和十二年十一月二十七日附貯國第二一八九號提案ノ追加打合事

項ニ關スルモノ

□ 第八項業務協定第六十九條、第七十一條第一項及第七十四條第

一項ニ關スルモノ

本人拂込者又ハ本人拂又ハ本人拂ニ非ザル適當振替ノ現行制ノ請
求ニ付テハ請求ノ區別ニ從ヒ拂込書又ハ抽出書ニ夫々左ノ通表示
セシムルコト但シ本人拂ノ場合ニ於テハ受取人ノ住所氏名ノ記載
ヲ省略シ得ルコト

本人拂込ノ場合

拂込書金額記載ノ下部餘白ニ又ハ本人拂込人住所

氏名ノ記載ニ代ヘ「本人拂込」ノ文字

裏面白紙

本人持ノ場合

拂出書金額記載ノ下部餘由キ受取人住所氏名ノ記載ニ代ヘ「本人持」ノ文字

本人持ニ非サル

拂出書金額記載ノ下部餘由キ「現金持」ノ文字

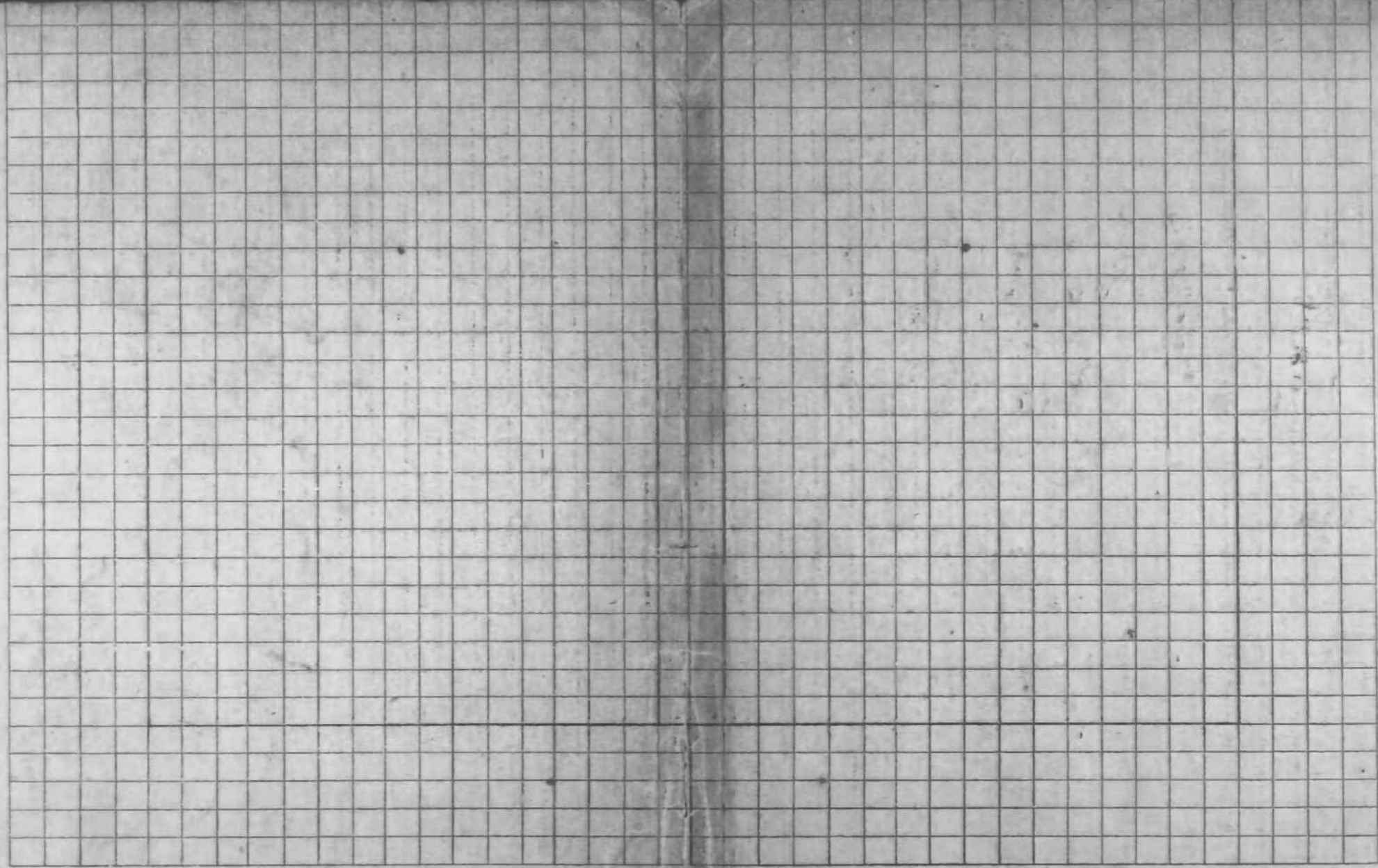
迎官振替ノ現金

字

持ノ場合

由 第十四項業務協定第八十八條ニ關スルモノ

拂込料金加入者負担ノ拂込ニ付使用スル拂込書ニハ其ノ各集ノ部中央ニ直徑約一、五厘ノ圓ヲ描キ其ノ中ニ左記當拂込料金加入者負担ノ旨ヲ表示スルコト



會商機寫應傳自轉輸ルヤ一ロ

壹ノ二町用外區田神市京東

第一六二・第一二二番地

【いさ下て並列E下のンシ【の二用の事一タイラフイタ】

結了文書課長印

19年1月8日

三業貯業 7 049

發送 校合 淨書



大臣

次官



日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ
基ク業務協定中修正ノ件

日滿郵便爲替及同郵便振替業務改正ニ關スル右當方提議ニ對シ今般

局長



課長



文 69
19.1.19

549

滿洲國ヨリ別紙ノ通承諾越シタルニ付

供高覽

(表ノ裏)

洲 帝 國 政 府



有添付

郵總儲第三四三一號一備二葉第三八七

康德十年十二月二十九日

日本國貯金保險局長 殿

滿州國 郵政總局



拜復 十二月十五日對貴館貯業第一六〇號ヲ以テ御送付相成候滿日聞
郵便條約ニ基ク業務協定ノ修正ニ關スル交換公文貴方往翰落着致シ交
換公文當方復翰別添ノ通同封及送付候條可然御取計相成度候

敬 具



印-6 B列5

裏面白紙

為照復事請於快遞滿洲國與日本國間郵務條約之業務協定中之條
 正按准昭和十八年十二月十五日

實大臣願書內有左項之建議業經閣下

- 一 日文中「第三十九條 存留」刪除
 - 二 第二十七條第一項改為如左、第二項中「壹位未満」改為「十位
 未満」、「百位未満」改為「一圓未満」
 匯兌每一張之款額限前普通匯兌及電匯匯兌為日本貨幣一圓以上一
 千圓以下、小匯兌為日本貨幣十圓（一月）以上一百圓以下
 - 三 第二十八條第一項至第三項改為如左
 - 一 普通匯兌每一枚之匯兌費實定如左
- (一) 日本國發匯者

郵政總局

一百圓以內	五	角（五十錢）
三百圓以內	一	圓（一圓）
五百圓以內	一圓五角	（一圓五十錢）
一千圓以內	二	圓（二圓）
（二）滿洲國發匯者		
一百圓以內	六	角
三百圓以內	一圓二角	
五百圓以內	二	圓
一千圓以內	二圓五角	

對於代收實價郵件代收款所附發之普通匯兌之費實為於兌款處
 之匯兌費款額一百圓（一圓）以下時按小匯兌之費實率將此費實

於兌行匯款時由收款人收取之

二 電報匯兌每一件之匯兌費實規定如左

(一) 日本國發匯者

- 一百圓以內 一圓五角(一圓五十錢)
- 三百圓以內 三圓(三圓)
- 五百圓以內 四圓五角(四圓五十錢)
- 一千圓以內 六圓(六圓)

(二) 滿洲國發匯者

- (甲) 滿洲國郵政局與日本內地、臺灣及南洋群島各郵便局間所互匯者
 - 一百圓以內 二圓

郵政總局

- 三百圓以內 三圓五角
- 五百圓以內 五圓
- 一千圓以內 六圓五角

(乙) 滿洲國郵政局與朝鮮及關東州各郵便局間所互匯者

- 一百圓以內 一圓五角
- 三百圓以內 三圓
- 五百圓以內 四圓五角
- 一千圓以內 六圓

三 小匯兌每一件之匯兌費實規定如左

- (一) 日本國發匯者
 - 二十圓以內 一角(十錢)

五十圓以內	二角(二十錢)
一百圓以內	三角(三十錢)
滿洲國發行者	
十圓以內	一角
三十圓以內	二角
五十圓以內	三角
一百圓以內	五角

四 第三十八條第三項及第四項改爲如左
 兌之取款人因遺失、毀損或玷汚擬請交付而兌補發證書時應
 使請求人具保證人
 而兌補發證書由管理廳或郵便局發行之交與請求人

郵政總局

但對於因小匯兌證書遺失請發補發證書者自其發行之日起非逾一百
 二十日後則不發行補發證書

- 五 第三十九條刪除
- 六 第四十一條第二項中「或發給局」刪除、第三項改爲如左
 接到前項通知之原兌款屬除受發給局通知時外發給請辦單寄送新兌
 款局
- 七 第五十三條第一項改爲如左
 關於第五十一條第一項收得份之計算及清算專用兩條第三項之規定
- 八 第五十四條第一項中「且不拘第二十七條之規定所有匯兌款額」
 改爲「第二十七條第一項」
- 九 第六十條第一項但書中「應由已受所屬戶頭所管廳承認之郵便局

前條第一款至第三款改爲如左

(一) 輸入貨費

五百圓(圓)以內 十 錢(一 角)

超過五百圓(圓)者 二十 錢(二 角)

(二) 轉販貨費 五 錢(五 分)

(三) 付加貨費

(甲) 日本國付加者

二十圓以內 十 錢(一 角)

一百圓以內 二十 錢(二 角)

五百圓以內 四十 錢(四 角)

一千圓以內 六十 錢(六 角)

郵 政 總 局

三千圓以內 八十 錢(八 角)

(乙) 滿洲國付加者

二十圓以內 一 角

一百圓以內 二 角

五百圓以內 四 角

一千圓以內 七 角

三千圓以內 一圓一角

十 第六十條第七項改爲如左

凡關於普通轉販之輸入貨費、電報轉販之本人輸入貨費、轉販及付
出之貨費於左列各款以外者並收款委託資費係收款轉販輸入者除有
特別必要時外由加入人之貯金內扣除徵收之

卷第四

補發通兌證書

卷第一號及原證書代替

卷第五

補發小通兌證書

卷第三號及原證書代替

卷第七

補發付山證書

卷第三號及原證書代替

卷第十一

補發付山報告書

卷第十號及原報告書代替

郵政總局

- (一) 補發付出現券之實費
- (二) 第七十二條第二項、第七十三條及第七十六條第一項第二節之辦理實費
- 十一 第七十五條中「對於付出現券之存簿準用第三十九條第一項」前條之加添左列但書
但補發行出現券之發行由戶頭所管廳辦理之
- 十二 附錄第三號小匯兌證書、第四號補發匯兌證書、第五號補發小匯兌證書、第六號補發付出現券及第七號補發行出現報告各格式均以別另紙
- 十三 本修正目康德十一年一月一日實施

本大臣茲向

郵政總局

貴大臣通告本大臣對於此項從議表示同意相應照覆
貴大臣查照可也

右 照 會

大日本帝國
逓信大臣 八出嘉明

滿洲帝國交通部大臣 谷



康德十年十二月二十九日於新京

振興十號及原報告書代香

郵政總局

以書翰啓上致候陳者本大臣ハ滿洲國日本國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定中修正ニ關シ昭和十八年十二月十五日附頁翰ヲ以テ左ノ通御提議相成致候

- 一 目次中「第三十九條 假拂」ヲ削ル
- 二 第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ、第二項中「五位未満」ヲ「十錢未満」ニ、「四位未満」ヲ「一圓未満」ニ改ム
- 爲替一口ノ金額制限ハ通常爲替及電信爲替ニ在リテハ日本國通貨一圓以上千圓以下、小爲替ニ在リテハ同十錢以上百圓以下トス
- 三 第二十八條第一項乃至第三項ヲ左ノ如ク改ム
- 一 通常爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

郵政總局

(一) 日本國振出ノモノ		(二) 滿洲國振出ノモノ	
百	圓迄	千	圓迄
五十	錢	一	圓五十錢
三	百圓迄	五	百圓迄
一	圓	一	圓五十錢
日	圓迄	三	百圓迄
六	角	一	圓二角
五	百圓迄	二	圓
二	圓	二	圓五角
千	圓迄	二	圓五角

郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ滿洲國ニ於テハ爲替料

トシ金額白圓(一圓)以下ナルトキハ小爲替ノ料金ノ割合ニ依ル
 此ノ料金ハ爲替金拂渡ノ際其ノ受取人ヨリ之ヲ徴收ス
 二 電信爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス
 (一) 日本國振出ノモノ

白	圓迄	一圓五十錢
三	百圓迄	三圓
五	百圓迄	四圓五十錢
千	圓迄	六圓

(二) 滿洲國振出ノモノ

(甲) 滿洲國郵便局ト日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル
 郵便局トノ間ニ取組ムモノ

郵政總局

百	圓迄	二圓
三	百圓迄	三圓五角
五	百圓迄	五圓
千	圓迄	六圓五角

(乙) 滿洲國郵便局ト朝鮮及關東州ニ在ル郵便局トノ間
 二取組ムモノ

百	圓迄	一圓五角
三	百圓迄	三圓
五	百圓迄	四圓五角
千	圓迄	六圓

三 小爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

郵政總局

(一) 日本國振出ノモノ 二 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		十 圓迄 三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		二 十 圓迄 三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		一 圓迄 二 圓迄 三 圓迄 五 圓迄		十 圓迄 二十圓迄 三十圓迄 五十圓迄		一 圓迄 二 圓迄 三 圓迄 五 圓迄		十 圓迄 二十圓迄 三十圓迄 五十圓迄	
		(二) 滿洲國振出ノモノ 三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄		三 十 圓迄 五 十 圓迄 百 圓迄	

第三十八條第三項及第四項ヲ左ノ如ク改ム
 爲替ノ受取人證書ノ亡失、毀損又ハ汚斑ニ因リ再度爲替證書ノ

交付ヲ請求スルトキハ同人ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ要ス
 再度爲替證書ハ管理廳又ハ郵便局ニ於テ之ヲ發行シ請求人ニ交
 付ス
 但シ小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發
 行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ再度證書ヲ發行
 セズ
 五 第三十九條ヲ削ル
 六 第四十一條第二項中「又ハ振出局一ヲ削リ、第三項ヲ左ノ如
 ク改ム
 前項ノ通報ヲ受ケタル原簿渡局ハ振出局ヨリ通報ヲ受ケタル場

合ヲ除クノ外振出請求書ヲ新振渡局ニ送付ス

七 第五十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

第五十一條第一項ノ取得分ノ計算及清算ニ付テハ前條第三項ノ規定ヲ準用ス

八 第五十四條第一項中「第二十七條ノ規定ニ拘ラス其ノ爲替金額ニ」ヲ「第二十七條第一項ノ」ニ改ム

九 第六十條第一項但書中「所屬口座所管廳ノ承認ヲ受ケタル郵便局ヲ經テ」ヲ削リ、第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

(一) 拂込料

五百圓(圓)迄	十	錢(一角)
五百圓(圓)ヲ超クルモノ	二十	錢(二角)

郵政總局

(二) 振替料

五 錢(五分)

(三) 拂出料

(甲) 日本國拂出ノモノ

二十圓迄	十	錢
百圓迄	二十	錢
千圓迄	四十	錢
五千圓迄	六十	錢
一萬圓迄	八十	錢

(乙) 滿洲國拂出ノモノ

十圓迄	一	角
百圓迄	二	角

五	百	圓迄	四	角
千		圓迄	七	角
三	千	圓迄	一	圓一角

十 第六十條第七項ヲ左ノ如ク改ム

通常振替ノ拂込料、電信振替ノ本人拂込料、振替及拂出ニ關スル料金ニシテ左ノ各號以外ノモノ竝ニ集金委託料ニシテ集金振替拂込ニ係ルモノハ別段ノ必要アル場合ヲ除クノ外加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控除徴收ス

(一) 再度拂出證書ノ料金

(二) 第七十二條第二項、第七十三條及第七十六條第一項第二節ノ取扱ノ料金

郵政總局

十一 第七十五條中「、拂出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一項」ヲ削リ、左ノ但書ヲ加フ

但シ再度拂出證書ノ發行ハ拂出口座所管總ニ於テ之ヲ爲スモノトス

十二 附錄替第三號小爲替證書、替第四號再度爲替證書、替第五號再度小爲替證書、振第七號再度拂出證書及振第十一號再度拂出報知書各難形ヲ夫々別紙ノ如ク改ム

十三 本修正ハ康徳十一年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

本大臣ハ右ニ同意ナル旨閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

康徳十年十二月二十九日 新京ニ於テ

滿洲帝國交通部大臣 谷 次

大日本帝國運輸通信大臣 八 田 嘉 明 殿



郵 政 總 局

番第三號

70	60	50	45	40
80	清洲國政府 小匯兌證書 (書證)			35
90	取立人姓名 取立人住所 取立人職業 取立人印	取立人姓名 取立人住所 取立人職業 取立人印	額金 (漢金)	30
100	發行日 (印)			25
	保存三年 (印)	發行日 (印)	發行日 (印)	20
	1	5	10	15

郵政總局

番第四號

補發匯兌證書

番第一號及原證書代替

番第五號

補發小匯兌證書

番第三號及原證書代替

番第七號

補發付出發書

番第三號及原證書代替

番第十一號

補發付出發書

めくれず

振第十號及原報知警供用

郵政總局

(發送公文)控

以書翰啓上致候候者本大臣ハ日本國南洋州諸島郵便業務ニ關スル條約ニ
基テ業務協定中修正ニ關シ左ノ通關下ニ提議スルノ光榮ヲ有シ候

- 一 目次中「第三十九條 假補」ヲ削ル
- 二 第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ、第二項中「地位未滿」ヲ「十
餘未滿」ニ、「地位未滿」ヲ「一箇未滿」ニ改ム
- 爲替一口ノ金額制限ハ適當爲替及電信爲替ニ在リテハ日本國通貨一
圓以上千圓以下、小爲替ニ在リテハ同十錢以上百圓以下トス
- 三 第二十八條第一項乃至第三項ヲ左ノ如ク改ム
 - 一 通常爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

(一) 日本國振出ノモノ

百圓迄	五十錢
三百圓迄	一圓
五百圓迄	一圓五十錢

(二) 南洋州振出ノモノ

千圓迄	二圓
百圓迄	六角
三百圓迄	一圓二角
五百圓迄	二圓
千圓迄	二圓五角

郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ拂渡額ニ於ケル爲替料トシ
金額百圓(圓)以下ナルトキハ小爲替ノ料金ノ割合ニ依ル此ノ料
金ハ爲替金拂渡ノ際其ノ受取人ヨリ之ヲ徴收ス

二 電信爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

(一) 日本國振出ノモノ

百圓迄	一圓五十錢
三百圓迄	三圓

五百圓迄 四圓五十錢
 千圓迄 六圓

口 滿洲國振出ノモノ

(甲) 滿洲國郵便局ト日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

百圓迄	二圓
三百圓迄	三圓五角
五百圓迄	五圓
千圓迄	六圓五角
組ムモノ	一圓五角
百圓迄	三圓
三百圓迄	三圓

(乙) 滿洲國郵便局ト朝鮮及關東州ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

五百圓迄	四圓五角
千圓迄	六圓

三 小爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

(一) 日本國振出ノモノ

二十圓迄	十錢
五十圓迄	二十錢
百圓迄	三十錢

(二) 滿洲國振出ノモノ

十圓迄	一角
三十圓迄	二角
五十圓迄	三角
百圓迄	五角

四 第三十八條第三項及第四項ヲ左ノ如ク改ム

爲替ノ受取人證書ノ亡失、毀損又ハ汚損ニ因リ再度爲替證書ノ交付
ヲ請求スルトキハ同人ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ要ス
再度爲替證書ハ管理廳又ハ郵便局ニ於テ之ヲ發行シ請求人ニ交付ス
但シ小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發行ノ
日ヨリ百二十日ヲ経過シタル後ニ非ザレバ再度證書ヲ發行セズ

五 第三十九條ヲ削ル

六 第四十一條第二項中「又ハ振出局」ヲ削リ、第三項ヲ左ノ如ク改
ム
前項ノ通知ヲ受ケタル原振渡局ハ振出局ヨリ通知ヲ受ケタル場合ヲ
除クノ外振出請求書ヲ新振渡局ニ送付ス

七 第五十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム
第五十一條第一項ノ收得分ノ計算及清算ニ付テハ前條第三項ノ規定
ヲ準用ス

八 第五十四條第一項中「第二十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ爲替金額ニ」
ヲ「第二十七條第一項ノ」ニ改ム

九 第六十條第一項但書中「所屬口座所管廳ノ承認ヲ受ケタル郵便局
ヲ經テ」ヲ削リ、第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

(一) 拂込料

五百圓(圓)迄	十	錢(一角)
五百圓(圓)ヲ超ユルモノ	二十	錢(二角)
(二) 振替料	五	錢(五分)
(甲) 日本國拂出ノモノ	二十	圓迄
二百圓迄	十	錢
百圓迄	二十	錢
五百圓迄	四十	錢

(乙) 滿洲國拂出ノモノ

千圓迄	六十錢
三千圓迄	八十錢
二十圓迄	一角
百圓迄	二角
五百圓迄	四角
千圓迄	七角
三千圓迄	一圓一角

十 第六十條第七項ヲ左ノ如ク改ム

通常振替ノ拂込料、電信振替ノ本人拂込料、振替及拂出ニ關スル料
 金ニシテ左ノ各號以外ノモノ、玆ニ集金委託料ニシテ集金振替拂込ニ
 係ルモノハ別段ノ必要アル場合ヲ除クノ外加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控
 除徴收ス

(一) 再度拂出證書ノ料金

(二) 第七十二條第二項、第七十三條及第七十六條第一項第二節ノ取
 扱ノ料金

十一 第七十五條中「、拂出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一
 項」ヲ削リ、左ノ但書ヲ加フ

但シ再度拂出證書ノ發行ハ拂出口座所管總ニ於テ之ヲ爲スモノトス
 十二 日本文射錄替第三號小爲替證書、替第四號再度爲替證書、替第五
 號再度小爲替證書、振第七號再度拂出證書及振第十一號再度拂出
 證書各雜形ヲ夫々別紙ノ如ク改ム

十三 本修正ハ昭和十九年一月一日ヨリ之ヲ實施ス
 本大臣ハ右ニ同意ナル旨ノ御回答ニ接スルヲ得バ幸甚ニ候
 本大臣ハ玆ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

昭和十八年十二月十五日 東京ニ於テ

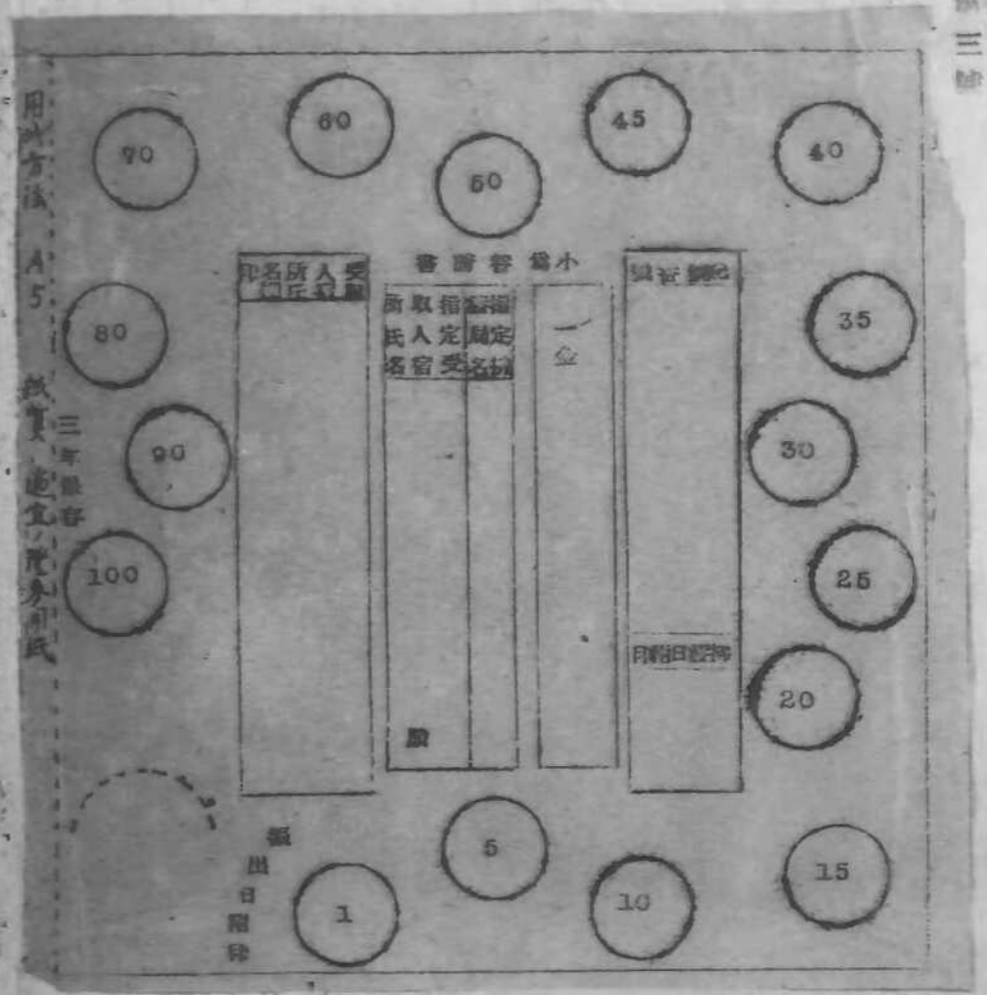
大日本帝國運輸通信大臣 八田 嘉 明

滿洲帝國交通部大臣 谷 次 亨 殿

露光量違いにより重複撮影

めくれず

特許三號



再度提出證書

特許一號及原證書換用

特許五號

再度小爲特證書

特許三號及原證書換用

特許七號

再度提出證書

特許三號及原證書換用

特許十一號

再度提出通知書

特許十號及原報知書換用

文書課



未結了決裁后主任廻

18年12月11日

大庫

貯業 160

合計 160



次官

總務

日本國滿洲國間郵便條約ニ基ク業務協定中
修正ニ關スル件

案

書留

航空

(機内名十六号
甲二七号引文)

局長



課長



決府



三業



142
18.12.14

日本國通信院貯金保險局長

滿洲國郵政總局長宛

拜啓儀ニ貴我關係官ノ間ニ下打合ヲ了シタル日滿郵便爲替及日滿郵便
振替業務ノ改正ニ付必要ナル日滿間郵便條約ニ基ク業務協定ノ修正ニ
關スル交換公文當方往翰別紙ノ通同封及御送付候條可然御取計相成度
此段得貴意候敬具

(別紙)

以書翰啓上致候陳者本大臣ハ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ
基ク業務協定中修正ニ關シ左ノ通閣下ニ提議スルノ光榮ヲ有シ候

一 目次中「第三十九條 假拂」ヲ削ル

二 第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ、第二項中「錢位未滿」ヲ「十
錢未滿」ニ、「圓位未滿」ヲ「一圓未滿」ニ改ム

爲替一口ノ金額制限ハ通常爲替及電信爲替ニ在リテハ日本國通貨一
圓以上千圓以下、小爲替ニ在リテハ同十錢以上百圓以下トス

三 第二十八條第一項乃至第三項ヲ左ノ如ク改ム

一 通常爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

（一）日本國振出ノモノ

百 圓 迄 五十 錢

三百 圓 迄 一 圓

五百 圓 迄 一圓五十 錢

千 圓 迄 二 圓

(表5續)

（二）滿洲國振出ノモノ

百 圓 迄 六 角

三百 圓 迄 一圓二角

五百 圓 迄 二 圓

千 圓 迄 二圓五角

郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ拂渡國ニ於ケル爲替料トシ

金額百圓（圓）以下ナルトキハ小爲替ノ料金ノ割合ニ依ル此ノ料

金ハ爲替金拂渡ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

二 電信爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

一 日本國振出ノモノ

百 圓迄 一圓五十錢

三百 圓迄 三 圓

五百 圓迄 四圓五十錢

千 圓迄 六 圓

一 滿洲國振出ノモノ

(甲) 滿洲國郵便局ト日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

百 圓迄 二 圓

三百 圓迄 三圓五角

五百 圓迄 五 圓

千 圓迄 六圓五角

(乙) 滿洲國郵便局ト朝鮮及關東州ニ在ル郵便局トノ間ニ取組ムモノ

百 圓迄 一圓五角

百	圓	迄	三十	錢	
十	圓	迄	一	角	
三	十	圓	迄	二	角
五	十	圓	迄	三	角
百	圓	迄	五	角	

四 第三十八條第三項及第四項ヲ左ノ如ク改ム

爲替ノ受取人證書ノ亡失、毀損又ハ汚損ニ因リ再度爲替證書ノ交付

二 滿洲國振出ノモノ

三	百	圓	迄	三	圓
五	百	圓	迄	四	圓五角
千	圓	迄	六	圓	

三 小爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

一 日本國振出ノモノ

二十	圓	迄	十	錢
五十	圓	迄	二十	錢

英下換

五 第三十九條ヲ削ル
 但シ小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ再度證書ヲ發行セズ

六 第四十一條第二項中「又ハ振出局」ヲ削リ、第三項ヲ左ノ如ク改ム

共五條

前項ノ通報ヲ受ケタル原拂渡局ハ振出局ヨリ通報ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外振出請求書ヲ新拂渡局ニ送付ス

七 第五十三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

第五十一條第一項ノ收得分ノ計算及清算ニ付テハ前條第三項ノ規定ヲ準用ス

八 第五十四條第一項中「第二十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ爲替金額ニ」ヲ「第二十七條第一項ノ」ニ改ム

九 第六十條第一項但書中「所屬口座所管廳ノ承認ヲ受ケタル郵便局

ヲ經テ「ヲ削リ、第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

(一) 拂込料

五百圓(圓)迄 十 錢(一角)

五百圓(圓)ヲ超ユルモノ 二十 錢(二角)

(二) 振替料 五 錢(五分)

(三) 拂出料

(甲) 日本國拂出ノモノ

此ノ説

二十圓迄 十 錢

百圓迄 二十 錢

五百圓迄 四十 錢

千圓迄 六十 錢

三千圓迄 八十 錢

(乙) 滿洲國拂出ノモノ

二十圓迄 一 角

百圓迄 二 角

五百圓迄 四角

千圓迄 七角

三千圓迄 一圓一角

第六十條第七項ヲ左ノ如ク改ム

通常振替ノ拂込料、電信振替ノ本人拂込料、振替及拂出ニ關スル料
金ニシテ左ノ各號以外ノモノ竝ニ集金委託料ニシテ集金振替拂込ニ
係ルモノハ別段ノ必要アル場合ヲ除クノ外加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控

除徴收ス

一 再度拂出證書ノ料金

二 第七十二條第二項、第七十三條及第七十六條第一項第二節ノ取

扱ノ料金

十一 第七十五條中「、拂出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一
項」ヲ削リ、左ノ但書ヲ加フ

但シ再度拂出證書ノ發行ハ拂出口座所管廳ニ於テ之ヲ爲スモノトス

十二 日本文附録替第三號小爲替證書、替第四號再度爲替證書、替第五

號再度小爲替證書、振第七號再度拂出證書及振第十一號再度拂出報
知書各難形ヲ夫々別紙ノ如ク改ム

十三 本修正ハ昭和十九年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

本大臣ハ右ニ同意ナル旨ノ御回答ニ接スルヲ得ハ幸甚ニ候
本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候敬具

昭和十八年十二月十五日 東京ニ於テ

大日本帝國運輸通信大臣 八 田 嘉 明

別紙

替第四號

再度爲替證書

替第一號及原證書換用

替第五號

再度小爲替證書

替第三號及原證書換用

振第七號

再度拂出證書

振第三號及原證書換用

振第十一號

再度拂出報知書

振第十號及原報知書換用

裏面白紙

字本令第一三
号及第一三八号
後出

理由

ニ郵務規則及郵便検査規則中改正セラレ十一月ヨリ實施
セラレタル内務省事務ト不統一體ノ關係ニ在ル日當參照ニ付テモ同
様改正ヲ實施スル要旨協定ヲ修正スルノ要アルニ因ル
由六改正ハ滿洲國ニ於ケル國內華僑ニ合ハサル爲十一月一日實
施ハ不可得トナリタルモ十一月、十二月ノ二ヶ月間ハ各國ニ於テ使
官將領ヲ購シ或實上改正並リ事務ヲ進行スル如ク暫行協定ヲ結ビ爾
内務省事務ノ統一ヲ計リタリ

理由

裏面白紙

日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク
事務協定中新舊對照

目次

第二編 郵便爲替ニ關スル規定

第二章 拂渡

第三十九條 銀券 削除

新旧對照

裏面白紙

第二編 郵便爲替ニ關スル規定

第一章 發 出

第二十七條 金額ノ制限

一 爲替一口ノ最高額金額制限ハ通常爲替及電信爲替ニ在リテハ日本國通貨五百圓以上千圓以下、小爲替ニ在リテハ同五十圓以上百圓以下トス

郵便取立金ニ對スル通常爲替一口ノ最高額ハ前條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ日本國通貨千圓トス

二 通常爲替及小爲替ノ金額ニハ十錢位未滿、電信爲替ノ金額ニハ一圓位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ズ

第二十八條科全

一 通常急務一口ノ急務料ハ左ノ通トス

(一) 日本國振出ノモノ

五	一	圓	迄	二	十	五	錢
百	一	圓	迄	三	十	五	十
百	五	十	圓	迄	四	十	五
二	百	圓	迄	五	十	五	錢
二	百	五	十	圓	迄	六	十
三	百	圓	迄	七	十	五	錢
三	百	五	十	圓	迄	八	十
四	百	圓	迄	九	十	五	錢
四	百	五	十	圓	迄	十	圓
五	百	圓	迄	一	十	五	十
千	圓	迄		二	圓		

裏面白紙

裏面白紙

口 南洋洲振出ノモノ

五十圓迄	三角五分
百圓迄	四角五分 六角
二百圓迄	六角五分
三百圓迄	八角五分 一元二角
四百圓迄	一元五分
四百圓超タルモノ	一元二角五分
五百圓迄	一元
千圓迄	一元五角

郵便取立金ニ對スル通常為替ノ料金ハ拂渡國ニ於ケル為替料トシ
 金額五十圓(圓)以下ナルトキハ小為替ノ料金ノ都合ニ依リ金
 額五十圓(圓)ヲ超ス五百圓(圓)以下ナルトキハ前節ノ規定ニ
 依リ金額五百圓(圓)ヲ超スルトキハ其ノ超過額ニ對シテハ百

圓(圓) 連毎二十錢(十角)ノ割合ニ依ル此ノ料金ハ爲替金拂渡
ノ際其ノ受取人ヨリ之ヲ徴收ス

二 電信爲替一口ノ爲替料ハ左ノ通トス

(一) 日本國振出ノモノ

(甲) 日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局、滿洲國郵便局
ノ間ニ取組ムモノ

二十圓迄 一圓五錢

五十圓迄 一圓三十五錢

百圓迄 一圓六十五錢

百五十圓迄 一圓九十五錢

二百圓迄 二圓二十五錢

裏面白紙

二百五十圓 迄 二圓五十五錢

三百圓 迄 二圓八十五錢三圓

三百五十圓 迄 三圓十五錢

四百圓 迄 三圓四十五錢

四百五十圓 迄 三圓七十五錢

五百圓 迄 四圓五錢四圓五十錢

千圓 迄 六圓

(乙) 朝鮮及關東州ニ在ル郵便局ト滿洲國郵便局トノ間ニ取組ム

モノ

二十圓 迄 七圓十五錢

五十圓 迄 九圓十五錢

(一) 滿洲國振出ノモノ

百	圓	迄	一	圓	五	錢					
百	五	十	圓	迄	一	圓	三	十	五	錢	
二	百	圓	迄	一	圓	五	十	五	錢		
二	百	五	十	圓	迄	一	圓	七	十	五	錢
三	百	圓	迄	一	圓	九	十	五	錢		
三	百	五	十	圓	迄	二	圓	十	五	錢	
四	百	圓	迄	二	圓	三	十	五	錢		
四	百	五	十	圓	迄	二	圓	五	十	五	錢
五	百	圓	迄	二	圓	七	十	五	錢		

裏面白紙

裏面白紙

(甲) 滿洲國郵便局ト日本内地、臺灣及南洋群島ニ在ル郵便局
トノ間ニ取組ムモノ

五十	圓	迄	一圓五角五分
百	圓	迄	一圓八角五分二
二百	圓	迄	二圓四角五分
三百	圓	迄	三圓五分三圓五角
四百	圓	迄	三圓六角五分
四百	圓	ヲ超スルモノ	四圓一角五分
五百	圓	迄	五圓
千	圓	迄	六圓五角

(乙) 滿洲國郵便局ト朝鮮及膠東州ニ在ル郵便局トノ間ニ取組
ムモノ

五十	圓	迄	一圓一角五分
----	---	---	--------

裏面白紙

百	圓	迄	十圓三角五分	一圓五角
七	百	圓	迄	一圓七角五分
三	百	圓	迄	一圓一角五分
四	百	圓	迄	二圓五角五分
四	百	圓	迄	二圓九角五分
五	百	圓	迄	四圓五角
千	圓	迄	六	圓

三 小為琴一口ノ為琴料ハ左ノ通トス

口 日本國振出ノモノ

五	圓	迄	五	錢	
二	十	圓	迄	十	錢
三	十	圓	迄	十五	錢
五	十	圓	迄	二十	錢

口 諸洲國振出ノモノ

百	圓	迄	三	十	錢
五	圓	迄	五	分	
十	圓	迄	一	角	
二	圓	迄	一	角五分	
三	圓	迄	二	角	
四	圓	迄	二	角五分	
四	圓	迄	三	角	
五	圓	迄	三	角	
百	圓	迄	五	角	

四、五 (省略)

裏面白紙

第二章 拂渡

第三十八條 再度爲替證書

爲替證書ノ有効期間ヲ經過シタルトキ又ハ爲替證書ヲ亡失、毀損若ハ汚斑シタルトキハ差出人又ハ受取人ニ於テ再度爲替證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

爲替證書ノ有効期間經過、毀損又ハ汚斑ニ因ル再度爲替證書ノ交付ノ請求ニ付テハ請求人ヲシテ當該證書ヲ差出サシムルモノトス

左ノ場合ニ於テハ請求人ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ要ス

一 爲替ノ受取人證書ノ亡失、毀損又ハ汚斑ニ因リ再度爲替證書ノ交

付ヲ請求スルトキハ同人ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ要ス

二 小爲替證書亡失ノ場合ニ於テ證書發行ノ日ヨリ百二十日以内ニ再

裏面白紙

印小爲替^{（非書）}ハ發行ヲ受ケントスルトキ

再度爲替證書ハ振出庫管理廳又ハ郵便局ニ於テ之ヲ作成發行シ書留事
備ニ依リ請求人ニ送達交付ス但シ小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ
請求ニ對シテハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非ザレバ
再度爲替書ヲ發行セズ

裏面白紙

第三十九條 假拂 削除

- 一 爲替ノ受取人ハ拂渡局ノ資金缺乏ノ場合ニ於テ其ノ拂渡シ得ル金額ヲ限度トシ爲替金ノ假拂ヲ請求スルコトヲ得
- 二 通常爲替ノ受取人ハ爲替證書ト振出請求書ト金額符合セザル場合ニ於テ其ノ少キ金額ヲ限度トシ爲替金ノ假拂ヲ請求スルコトヲ得

裏面白紙

第四十一條 拂渡局ノ變更

通當爲替及電信爲替ノ差出人又ハ受取人ハ郵便ニ依ル拂渡局ノ變更ヲ
請キスルコトヲ得

前項ノ請キヲ受理シタル郵便局ハ其ノ旨ヲ當該爲替ノ原拂渡局又ハ振
出局ニ通報ス

前項ノ通報ヲ受ケタル原拂渡局又ハ振出局ハ振出局ヨリ通報ヲ受ケタ
ル場合ヲ除ク外振出請求書又ハ之ニ代ルベキモノヲ新拂渡局ニ送付
ス振出局ハ尙其ノ旨ヲ原拂渡局ニ通報ス

第五十三條 收得分ノ計算及清算

一 各國郵政廳ハ前年中ニ掃渡サレタル爲替キ對スル第五十一條第一項ノ收得分ヲ一覽拂手形ヲ以テ毎年二月迄ニ相手國郵政廳ニ支拂フノ計算及清算ニ付テハ前條第三項ノ規定ヲ準用ス

二 (略)

⊕ 第五十一條第一項

左列郵政廳ハ自國ニ於テ徵收シタル爲替種ノ一部ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシテ之ニ對テ

△ 第五十二條第一項

一 報出國郵政廳ハ前二箇ノ期之ニ於テ自國ニ送付シタル掃渡爲替種ノ有餘ヲ(毎週一回定期ニ集計シ)其ノ他款ヲ一覽拂手形ノ以テ還滯テテ相手國郵政廳ニ支拂フ

裏面白紙

第七章 諸種ノ規定

第五十四條 無料爲替

郵便、郵便爲替及郵便振替ニ關シ兩國郵政廳間ニ發受スル通常爲替ハ之ヲ無料トシ且第二十七條第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ爲替金額ニ制限ヲ附セズ

前項ノ爲替證書ニハ「無料」ノ文字ヲ朱書ス

裏面白紙

第三編 郵便振替ニ關スル規定

第一章 拂込、振替及拂出ノ通則

第六十條 料 金

一 通常振替一口ノ料金ハ左ノ通トス但シ加入者所屬口座所管廳ノ本
認ヲ受ケタル郵便局ヲ經テ自己ノ口座ニ對シ自ラ拂込ヲ爲シ又ハ自
己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シ自ラ現金ヲ受領スル場合ハ之ヲ無料トス
口 拂込料

二	十	圓	(圓)	迄	五	錢	(五分)
百	圓	(圓)	迄	十	錢	(一角)	
五	百	圓	(圓)	迄	十	五	錢
千	圓	(圓)	迄	二	十	錢	(二角)
千	圓	(圓)	ヲ	超	ユ	ル	モ

裏面白紙

千圓(圓)ノ支出ノモノ

超過額千圓(圓)迄毎千五錢

五分ノ附加シタル金額

十五錢(十五分)

振替料
引出料

(甲)日本國引出ノモノ

五圓迄	五錢
二十圓迄	十錢
五十圓迄	十五錢
百圓迄	二十錢
二百圓迄	二十五錢
三百圓迄	三十錢

(乙) 滿洲國拂出ノモノ

四百圓	三十五錢
五百圓	四十錢
六百圓	四十五錢
八百圓	五十錢
千圓	五十五錢
千五百圓	六十錢
二千圓	六十五錢
二千五百圓	七十錢
三千圓	七十五錢

裏面白紙

二千五百圓迄	二千圓迄	千五百圓迄	千圓迄	八百圓迄	六百圓迄	四百圓迄	二百圓迄	五十圓迄	二十圓迄	十圓迄
一角五分	一角	九角	八角	七角	六角	五角	四角	三角	二角	一角五分

二千五百圓ヲ起スルモノ三千圓迄 一角
 一角
 一角
 一角
 一角
 一角
 一角
 一角
 一角
 一角
 一角

裏面白紙

裏面白紙

二 郵便振替一口ノ料金ハ左ノ通トス

(左ノ如ク)

三 一六 (省)

七 通算振替ノ拂込料ニシテ拂込料金加入者有様、引換代金振替拂込
及傳令振替拂込ニ係ルモノ、電信振替ノ本人拂込料、振替及引出ニ
關スル料金ニシテ左ノ各號以外ノモノ並ニ第二十五條ノ十ニ規定ス
ル料金ニ託料ニシテ傳令振替拂込ニ係ルモノハ別段ノ必要アル場合
ヲ除クノ外加入者ノ時金ヨリ之ヲ控除致收ス

(一) 本人振替ノ通算振替引出證書ノ捺渡戻ヲ變更シタル場合ニ於ケル
第一項第三號ノ料金

(二) 再所引出證書ノ料金

由
料
全
七
十
二
條
第
二
項
、
第
七
十
三
條
及
第
七
十
六
條
第
一
項
第
二
節
ノ
取
扱

裏面白紙

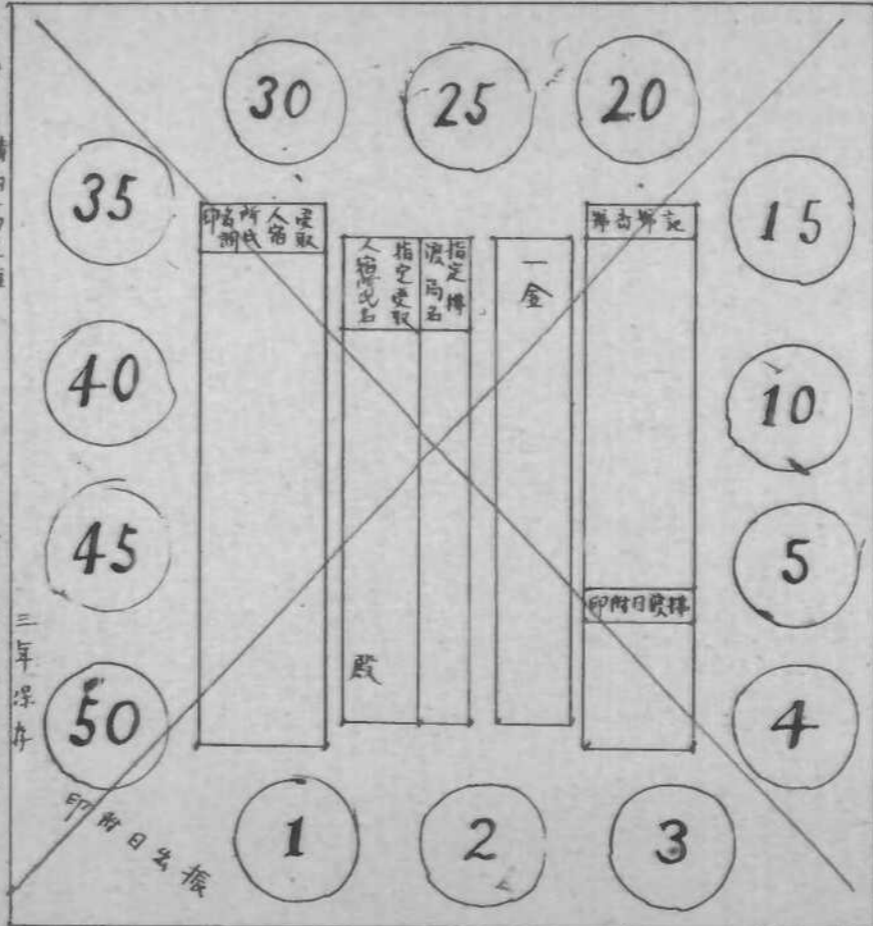
606

裏面白紙

第七十五條 第二編ノ規定ノ準用

拂出證書ノ有効期間ニ付テハ第三十七條、再度拂出證書ニ付テハ第三十八條第一項、第二項及第四項、拂出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一項ノ規定ヲ準用ス但シ再度拂出證書ノ發行ハ拂出口座所管廳ニ於テ之ヲ爲スモノトス

替牙三辨



用紙寸法 横約一四九程 縦約一三八程

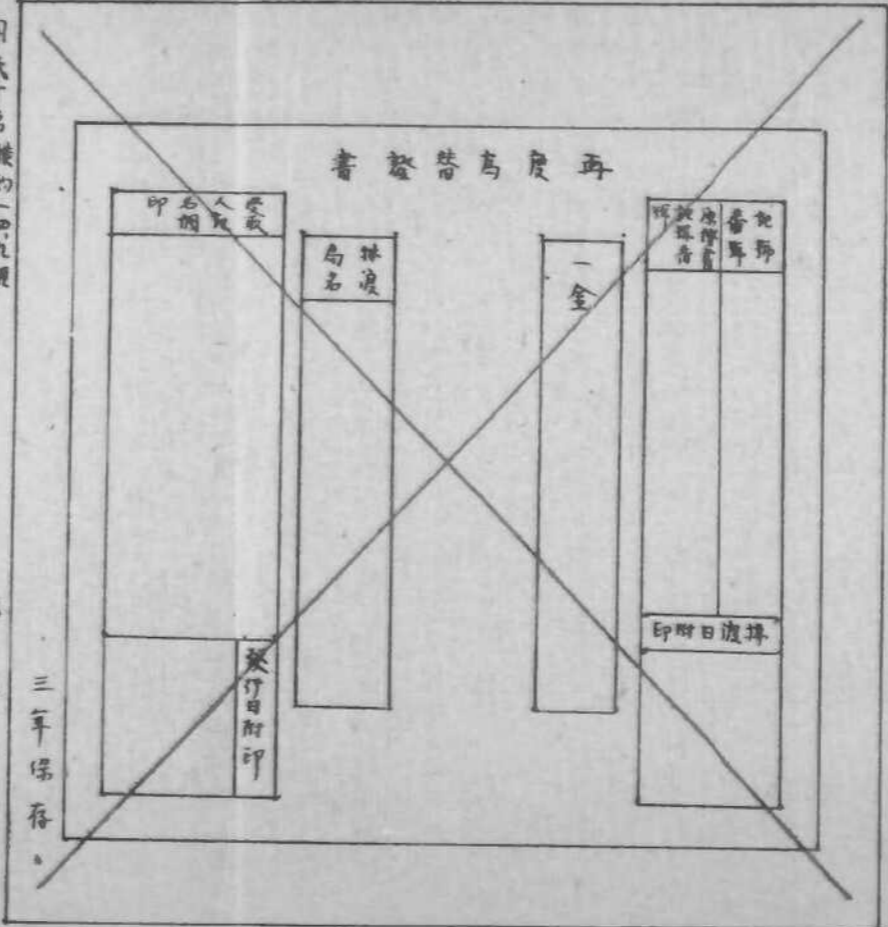
紙質 適宜、堅韌耐用 三年保存

印附日出檢

裏面白紙

裏面白紙

替牙四辨



用紙寸法 横約一四九釐 縦約一三八釐

紙變通宜ノ證券用紙

替牙四辨

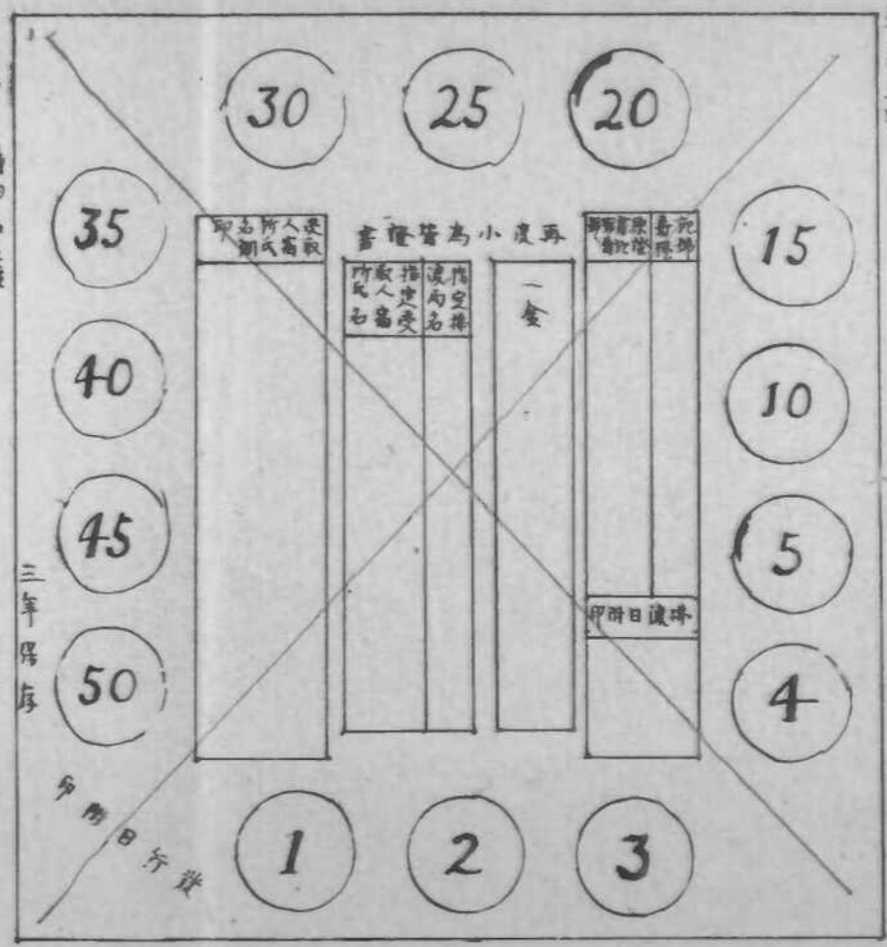
再度有替證書

替牙一辨及厚證書換用

609

裏面白紙

替字五冊



用紙寸法 幅約二四九
縦約一三八

紙質 適宜、證券用紙
三年保庫

替字五冊
再度小為替證書
替字一冊及原證書使用

裏面白紙

振字七舞

再度出書 一全		發行日附印	
		原書 番目 年月日	原書 番目 年月日
再度出書 年月日	原書 番目 年月日	原書 番目 年月日	原書 番目 年月日
再度出書 年月日		再度出書 年月日	

振字七舞

再度出書

振字三舞及原書者採用

用紙寸法通宣

三年保存
紙質通宣

裏面白紙

様
才
上
紙

再 度 出 報 知 書 一 全		再 度 出 報 知 書		登 行 日 附 印	
		所 在 人 氏 取 	名 人 氏 取 	年 月 日	登 行 番 号 原 登 番 号 原 登 番 号

用
此
寸
法
適
宜

振
才
上
紙

再
度
出
報
知
書

振
才
上
紙
及
原
報
知
書
換
用

紙
質
適
宜

本の結了

18年12月8日

日	號	號
發	校	淨
送	合	書

貳
（正日八日控行）

局長

課長

録

田舎 安 電報

滿洲國郵總局 通信院 局長 局長

昨日附費局報 二三 時 田舎 十一日 提議

見込

中野 攝之 修 文 傳 記 是 明 日 同 上 見 込

裏面白紙

裏面白紙

譯文
交通部發局報第二三號

十二月八日午前一時十一分着信

滿洲國郵政總局儲金保險局長
野金書啓課長 殿

十一月二十九日當局發局報同聯 十八年十一月三十日

郵總儲戶三一九四號 (儲二書三五) 敝室便ニテ通報量ノ

延書懇協定ノ修正ハ何時頃控案ノ見込ナリ申至意回報

相成文

※
上月八日現在
書名
手書
別名

113

一三
ムラ 一〇六 コウツウフ
アカハ ネチヨキンホケンキヨク
チヨキンケ ウムカテ
ニミ ビセ

一ケニ九ヒヘネ一ハ一ケ三〇ヒユウソウチヨ三一九四ヘチヨ
ニケ ウ三五〇コウクウヨウインニテツウホウヲキノトコロケウ
ウケウテイノシウセイハイヤコロテイアンノミコミナリヤシツ
マンシウユウソウチヨキンホケンテ

ムキハタハ

本文 関念主古ノルモ取致ヘス記



セー、ー、オ

裏面白紙

615



滿洲帝國政府

郵總儲第三一九四號（儲二業第三五〇號）

康德十年十一月三十日

貯金保險局
貯金業務課長 殿

滿洲國郵政總局
儲金保險課 處



十八年十一月三十日付の貯金業務課長殿宛の郵便物

郵政爲替及振替取扱事務簡素化ニ關スル件
拜啓 茲に郵總儲第二八九七號（儲二業第三〇〇號）を以て内報
致し置きたる郵政爲替及振替の料金は左の通決定致候條御諒知相
成度候

追て當方國內諸規定の改正手續を完了致候條滿日間業務協定の
修正方に關し可然御高配相頃度候

敬具

滿洲國郵料全
通報誌

裏面白紙

滿洲帝國政府

一 通常爲替		二 電信爲替		三 國內相互間ノモノ		四 國內ト日本國ト朝鮮及滿東州ヲ除クノ間ノモノ	
百圓迄	六角	千圓迄	二圓五角	百圓迄	一圓五角	百圓迄	二圓
三百圓迄	一圓二角	五百圓迄	二圓	三百圓迄	三圓	三百圓迄	三圓五角
五百圓迄				五百圓迄	四圓五角		
				千圓迄	六圓		

裏面白紙

滿洲帝國政府

五百圓迄	百圓迄	二十圓迄	通常振替	通常現金拂及局待拂	五百圓ヲ越	五百圓迄	振替拂込	百圓迄	五十圓迄	三十圓迄	十圓迄	小爲替	千圓迄	五百圓迄
四	二	一	五	一	二	一	五	三	二	一	一	六	五	五
角	角	角	分	角	角	角	角	角	角	角	角	角	角	角

円ノ序

裏面白紙

滿洲帝國政府

千圓迄
一角

印-6 B列5

619

裏面白紙

交通部發信力十八號 后報

十一月二十九日午後五分三分著

譯文

滿洲郵總儲令保險局長
貯令保險局 貯令普務局長 殿

十月二十五日附郵總儲力二八九七號 二回三件 右替友

*内附貯令後書

振替料令ハ内報通り快之ズ 別達 航空便ニテ通報ノ

見込ニ付 仰了 取アレ

先傳覽 原收

集三書

正或文書交入ヲ候テ普務局長之修 西提馬ニテニカ公

一八一八 三〇

業務

08.1

四〇
ムラ 九七 コウツウフ
チヨキンホケンキヨク
ゲ ウムカテウ
一〇ケニ五ヒユウザウチヨニ八九七シロ、カワセオヨビ フリカ
レウキンハナイホウド ウリケツテイスベ ツトコウクウビ シニ
テツウホウノミヨミニツキコ レウセウアレシマンシウユウソウチ
ヨキンホケンテ

41



コ五、三
夕

Handwritten text in a cursive script, possibly a form or document, with some ink smudges and a small mark resembling a signature or stamp.

A vertical rectangular box containing several horizontal lines, likely a form or a table structure.

逓信公報

號外 昭和十八年十月八日(金曜日)

勅令

逓信部令第三十七號
逓信部令第三十八號
逓信部令第三十九號
逓信部令第四十號
逓信部令第四十一號
逓信部令第四十二號
逓信部令第四十三號
逓信部令第四十四號
逓信部令第四十五號
逓信部令第四十六號
逓信部令第四十七號
逓信部令第四十八號
逓信部令第四十九號
逓信部令第五十號

逓信部令第三十七號
逓信部令第三十八號
逓信部令第三十九號
逓信部令第四十號
逓信部令第四十一號
逓信部令第四十二號
逓信部令第四十三號
逓信部令第四十四號
逓信部令第四十五號
逓信部令第四十六號
逓信部令第四十七號
逓信部令第四十八號
逓信部令第四十九號
逓信部令第五十號

逓信部令第三十七號
逓信部令第三十八號
逓信部令第三十九號
逓信部令第四十號
逓信部令第四十一號
逓信部令第四十二號
逓信部令第四十三號
逓信部令第四十四號
逓信部令第四十五號
逓信部令第四十六號
逓信部令第四十七號
逓信部令第四十八號
逓信部令第四十九號
逓信部令第五十號

逓信部令第三十七號
逓信部令第三十八號
逓信部令第三十九號
逓信部令第四十號
逓信部令第四十一號
逓信部令第四十二號
逓信部令第四十三號
逓信部令第四十四號
逓信部令第四十五號
逓信部令第四十六號
逓信部令第四十七號
逓信部令第四十八號
逓信部令第四十九號
逓信部令第五十號

逓信部令第三十七號
逓信部令第三十八號
逓信部令第三十九號
逓信部令第四十號
逓信部令第四十一號
逓信部令第四十二號
逓信部令第四十三號
逓信部令第四十四號
逓信部令第四十五號
逓信部令第四十六號
逓信部令第四十七號
逓信部令第四十八號
逓信部令第四十九號
逓信部令第五十號

逓信部令第三十七號
逓信部令第三十八號
逓信部令第三十九號
逓信部令第四十號
逓信部令第四十一號
逓信部令第四十二號
逓信部令第四十三號
逓信部令第四十四號
逓信部令第四十五號
逓信部令第四十六號
逓信部令第四十七號
逓信部令第四十八號
逓信部令第四十九號
逓信部令第五十號

逓信公報號外

内閣府
逓信部
逓信公報

第五條 逓信公報附外に於て提出通知書等ノ封付
 受取人トシテハ之ニ依リ郵便物ノ抽出ノ意
 配アズベシ郵便金全額ニ移スベシトキハ
 郵便金積蓄ノ有無ヲ調査シ得テアルトキハ之
 對シテ郵便積蓄ヲ發行(指定額ノ積蓄)シテ之ヲ
 請求人ニ交付スベシ

第六條 郵便局ニ於テ何人ノ設置交付ノ請
 求ヲ受テタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ
 一 積蓄請求書ニ受領印ヲ捺シテ郵便局長
 印等ハ之ヲ請求人ニ交付シ請求書ハ之ヲ通
 官郵便局長ニ送付スベシ

二 貯金一部額ニ移スベシトキハ郵便局長
 印等ハ之ヲ郵便局長ニ送付シ且郵便中
 金高記帳ノ上ニ請求書ノ上部トシテ主務官
 印ヲ捺シテ郵便局長ノ上部ニ郵便局長印
 捺シテ上部額へ之ヲ請求人ニ交付スベシ

第七條 本公報ニ依リ郵便局長所管郵便及貯
 金局ニ於テ使用スベキ印紙及文ノ保存期間左
 ノ如シ

名 額 保存期間
 郵便貯金總額 一年
 第一貯金部額 半年
 第二貯金部額 半年
 第三貯金部額 半年
 第四貯金部額 半年
 第五貯金部額 半年
 第六貯金部額 半年
 第七貯金部額 半年
 第八貯金部額 半年

第八條 逓信公報附外ノ取扱ニ關シ本公報ニ定
 定テテ事ハハ郵便貯金取扱規程ヲ參照ス

附則 本公報ハ昭和十八年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

逓信公報附外

國債郵便貯金繰戻請求書

〔一部繰戻〕

(公 封)

郵便記帳	※		受付日附印	日附印
逓信公報	※		印	印
住所	※	〒	氏名	男 尾 守 男
貯金局名	※	〒	貯金日附印	
證券種類	※	額	枚	證券價額(原價)
	※	100圓	3枚	圓 錢
	※	500圓	1枚	圓 錢
	※	圓	枚	圓 錢
繰戻金額	圓	錢	年月日	年 月 日
受取人記名調印	調印	調印	調印	調印
郵便局取書印				
郵便局立書印				

註 二、貯金一部繰戻ノ請求ノ場合ハ上部額外ノ「公封」ノ文字ヲ又貯金全額ノ請求ノ場合ハ「一」ヲ捺シテ郵便局長ノ請求人ニ於テ記入セザレバ不可

公債第七百六十三號

逓信公報附外

昭和十八年十月八日

逓信大臣 寺島 謙

逓信公報附外

國債郵便貯金繰戻請求書

〔一部繰戻〕

(公 封)

郵便記帳	※		受付日附印	日附印
逓信公報	※		印	印
住所	※	〒	氏名	男 尾 守 男
貯金局名	※	〒	貯金日附印	
證券種類	※	額	枚	證券價額(原價)
	※	100圓	3枚	圓 錢
	※	500圓	1枚	圓 錢
	※	圓	枚	圓 錢
繰戻金額	圓	錢	年月日	年 月 日
受取人記名調印	調印	調印	調印	調印
郵便局取書印				
郵便局立書印				

註 二、貯金一部繰戻ノ請求ノ場合ハ上部額外ノ「公封」ノ文字ヲ又貯金全額ノ請求ノ場合ハ「一」ヲ捺シテ郵便局長ノ請求人ニ於テ記入セザレバ不可

公債第七百六十三號

逓信公報附外

昭和十八年十月八日

逓信大臣 寺島 謙

逓信公報附外ノ取扱ニ關シ本公報ニ定テテ事ハハ逓信公報附外ノ取扱規程ヲ參照ス

附則 本公報ハ昭和十八年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和 年 月 分貯金計算書

Table with columns for '種目' (Category), '金額' (Amount), and '備考' (Remarks). Rows include '貯金預高', '切手貯金預高', '證券貯金預高', '積立貯金預高', '定期貯金預高', '特別積立貯金預高', '開封貯金預高', '貯金戻入金', '證券引換金', '臨時金', '貯金轉讓高', '臨時貯金高', '振込金高'.

計表十九條... 二用紙寸法(横約一七、六釐) 其頁正本一紙(二八行) 三年前...

附則

本公債は昭和十八年十月二十七日より發行... 第一條 本公債の發行は...

六

附則ノ組合ニ於テ發行人又ハ受取人正原本人... 第二條 本公債の發行は...

例 一、二番ヨリ一五番迄口金銀三十九百圓... 第五十三條中「受領證書」及「表」受領證書...

第五十九條「證書」ノ有效期間ヲ超過(小爲替... 第六十條「證書」ノ失効後若ハ再行シタルカ...

第六十一條 附則ニ於テ第五十九條及第六十... 第六十二條 附則ニ於テ第六十條及第六十一...

第六十六條第一項本文中「再行」ノ正當理由... 第六十七條 附則ニ於テ第六十六條第一項中...

再度證書請求書		再度證書請求書		再度證書請求書	
氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
小島 善	昭和十七年八月八日	小島 善	昭和十七年八月八日	小島 善	昭和十七年八月八日
東京中央	東京中央	東京中央	東京中央	東京中央	東京中央
東京中央	東京中央	東京中央	東京中央	東京中央	東京中央

本長途ハ昭和十八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 郵政省ハ郵政省官署ニ於テハ小島善等
 以下ノ数字ヲ表示セルモノヲ以テ分ルル
 以下ノ数字ヲ表示セルモノヲ以テ分ルル
 以下ノ数字ヲ表示セルモノヲ以テ分ルル

公債第七百六十五號
 郵政省官署
 昭和十八年十月八日
 郵政大臣 寺島 壽

逓信局ヲ經由シテ之ヲ貯金本局ニ送付スル
 前項ノ場合ニ於テ基本預金ノ持込ヲ要セザル
 モノヨリ請求ニ係ルモノナルトキハ加入請求
 書ノ提出ニ基本預金不登レト附記スルノ外
 項ノ例ニ準シて行フヘシ

一、加入請求書ハ凡ソ左ノ例ノ如ク必要ナル
 事項ヲ附則ニ記載セシムヘシ又口座ノ名
 義ニシテ請求ハシキモノ例ヘテ吉川ノ
 如ク「ヨシカワ」又「ヨシカワ」ニシテ
 ルモノハ其ノ姓ニ片假名ヲ附記セシムヘシ

一、用紙請求書ノ氏名印部ヲ印紙票ニ對照
 シテ之ヲ審査スヘシ
 二、用紙請求書ニ對シテ印紙及代金證明票
 三、請求書ノ提出ニ係ルモノハ第六十九號ニ
 準ジテ行フヘシ

第五十三號 郵便局ニ於テ貯金本局加入書又
 ハ用紙請求書ノ提出受取人ヨリ提出書ノ持込
 郵便局ニ於テ之ヲ受テ之ヲ持込メテ之ヲ請求
 書ニ提出スルモノナルトキハ加入請求書
 手ノ提出ニ係ルモノナルトキハ加入請求書
 手ノ提出ニ係ルモノナルトキハ加入請求書

向右表被罰者ハ手帳ヲ持たズシテ...

- (一) 受領書停止及本人證明手續改正
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

- (一) 遺信公報號外
(二) 遺信公報號外
(三) 遺信公報號外

18.12.29

伏見

一二八
ムラ 六セ コウツウア 一三

ゲツウシンインチヨキンホケンキヨク
ウムカテウ

據本

俵

キチマンユウビ ンゼ ウヤクニモトツ クゲ ウムケウテイヨタ
ウセイコウカンゴウア ンフクカンホシヒロシ、シノ、マンシウ
ツウチヨキン

日滿郵便館のニ其ノ書格場之ノ方支控書文摺翰本口紙三便ニテ
送セテ

卯金事書格場之
十一月二十日

卯日宛る路金内度六長

コセ、五セ、夕

120

八、一、二、三

18.12.29

三味心

裏面白紙

此
日
了

18年12月28日

發	校	評
送	合	審

日滿事務協定修正関係件
供
略
見

本件ニ関シ郵政總局鐵全科 倉田監査官

ニ電活ニテ照會ノ姓号 去方往翰ハ十二月二十九日到着ノ

趣判明ナリ 尚復翰ハ明二十九日發送ノ豫定ナル由ナリ

局長

課長

係長



裏面白紙

未考

18年12月24日

號	號	淨書
發	校	合
送	合	書

卷号二二二
(三島野矢之研究)

回各案

満洲國、郵傳部、全保院、局長宛

郵傳部、全保院、局長宛

昨の附書局報、又、一拂ニテ送付、十八日、東京宛、報、

送達、一〇一、拂ニテ送付、更ニ、若否、取、洲、回報、アリ、

高合、ノ、書、局、報、之、ニテ、送、付、ス

別送、摺、案、ノ、高、書、局、報、之、ニテ、送、付、ス、

土

既充

台帳 22-121

350

郵便送達證 (現数)

受取局名 立寄 立寄合封書

通寄小包在中行宛
数 4

宛局名	立寄局名	番號(又は宛数)	種別
	甲 203		
	187	航	
	202		
	216		

(摘要) 受取局日附印 立寄合封書附印

187

18.12.16

昭和三十七年 (昭和製本) 17.11 (机印)

野末

三
ムラニニコウツウアハ

トウケウチヨキンホケンキヨクシ
チヨキンゲウムカテ

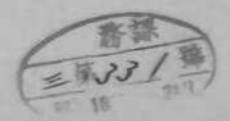
一六ヒ三ホシロ、シソユウソウチヨキンホケンテ

一五日乃報三古棉、件今ニ若者ニ向附、回名アレ
一ノ得カ

三
一
一

セーニニ〇
二十三年八月

28



裏面白紙

635

18年12月16日

日 號
號
洋 號
校 合
送 送

番号三一
十二月廿七日

電報

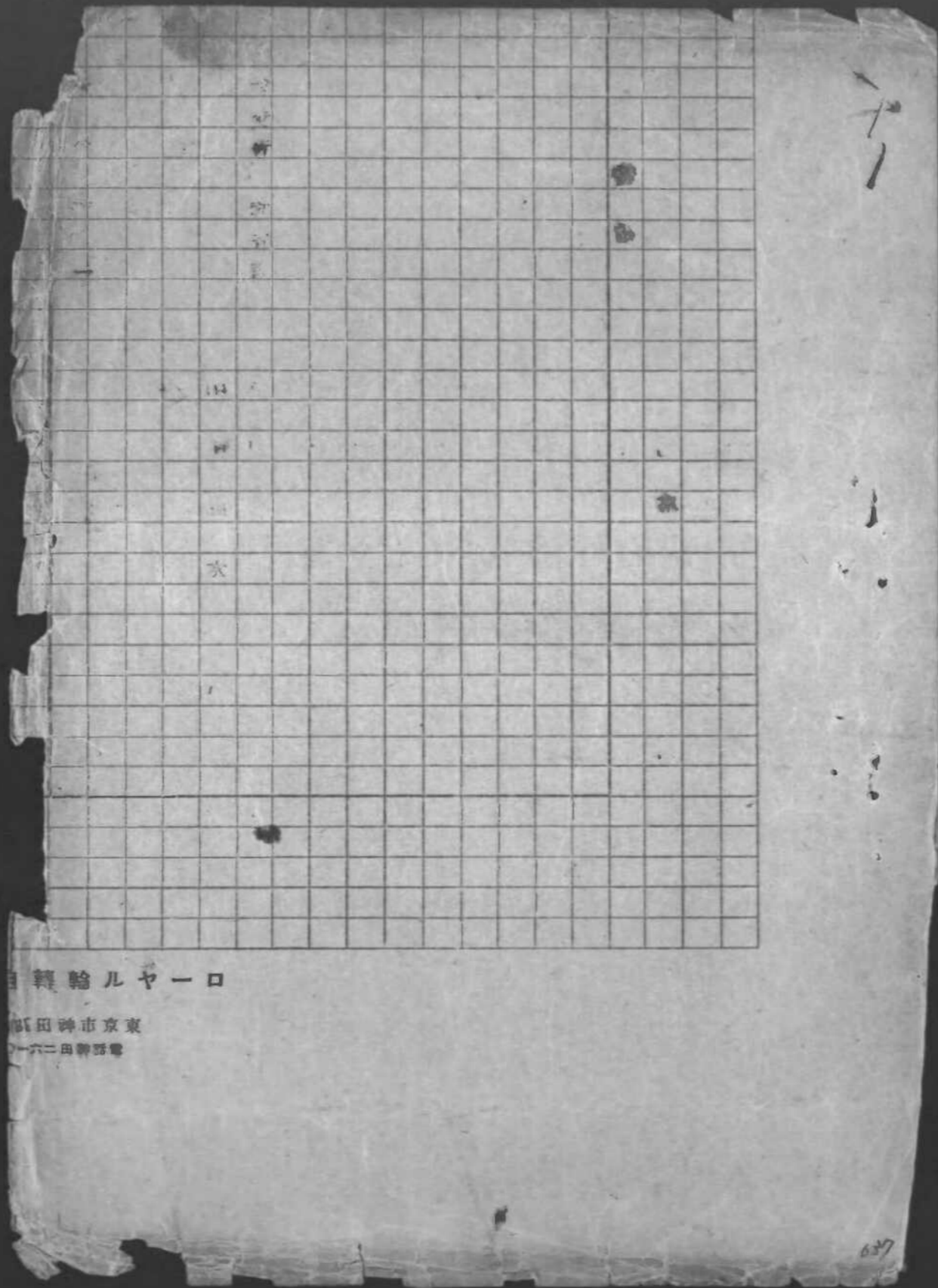
滿洲國 郵傳部 儲蓄保險局長 宛
通信院 貯蓄保險局長 宛
通傳部 儲蓄保險局長 宛

八日附書乃報乃二六號一件 当方位輪未日書留

船室便ヲ發送也ノ復翰日附ハ本月トシ發送日電報ニテ

脚通知乞フ

裏面白紙



今
年
の
事
業
計
画

次

口ヤル輪轉

東京市神田
電話二六一

裏面白紙

来着

18年12月20日

日

號

號

淨書

校合

發送

番号

イウセン九三

カントウ九四

平内年記北野左代

局長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

課長

日播電信局材料ニ関スル件

案(至急)

通信院町人全信院局長

岡車通信局長

朝野通信局長

(二八七三〇三ニシキ)

十八日附貴局報戸三〇三ニシキニ對スル回答(安内)

日滿事務協定修正案施行一月一日實施トシテ提案

シテノ寫十七日書多ニテ發送セリ尚貴局ニ滿洲國寫

電料別
電料の替料ハ双方共内地関東州同料金ト同様ナリ

従来関東州ニ在ケル日滿電信支替料ハ関東州内電信支替料ニ依ルコトナリ又朝鮮ニ在ケル支替料ハ同様に
電料支替料(右支替料)ニ依ルコトナリ又
今般日滿電信支替料ハ内地ノ金メ一事連ナリ
又ア 同支替料ハ内地ノ金メ一事連ナリ
ニハ 右支替料ハ内地ノ金メ一事連ナリ

大連發信料三〇三ニ辨

東京 即令保險局長殿
関東連信官署通信局長

日滿電信為替料改正ニ関シ業務協定修正ノ上 一月一
日ヨリ實施ノ豫定ナル趣ニ付テハ当方局令公布ノ都合上
下記至急回報相成度 一右實施期ハ一月一日ニ確
定シタルヤ其ニ確定セサルモノナレバ確定次第至急電報
アリタシ 二本邦提出滿洲國宛及滿洲國提出本邦宛電
信支替ノ金額別料金

Handwritten text in vertical columns within a rectangular frame. The text is written in a cursive style, likely a historical Japanese script such as kuzushiji. The columns are separated by vertical lines, and the text is arranged in approximately 15 columns from right to left. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

評著の

八三
ムラ ニ〇五 タイレン
トウケウチヨキシホケンチ



ヘナチマンチ ンシシカワセセカイセイニカシシケ むムケウチ
イシウセイノウエーケーヒヨリシ ツシノヨテイナルオモムキニツイ
テハトウホウキヨクレイコウフノツコ ウゼ ウカキシツーミキ
シ ツシキハーケーヒニカクチイシタルヤモシケツチイセセケル
モノナレバ カクチイシタ イスリニホシボ ウフクダ シヨシ
シウコクアチオヨビ マシシウコクフリダ シホシボ ウアチテ
シシカワセノキシカクハ ツレウキシカシトウチイシシテ

コ六、五〇ノ

裏面白紙